３．良好な景観の形成に関する方針

（景観法第８条第３項）

３－１景観形成の目標

（１）景観計画の理念

大村市の景観は、市全域を一つのまとまりある景観域として捉えることができます。それは山側からは見下ろす形、また、海側からは見上げる形となり、東西の二方向から捉えることができ、これが大村市ならではののびのびした景観の特徴といえます。

大村市の市街地は、大村湾沿いの平坦部に形成され、これが大村湾の空間と一体になり広々とした空間を感じることができます。特に、南北に長い市街地を自動車や鉄道に乗って、移動する際に、この広々とした景観を楽しむことができます。また、大村市を大村湾の対岸から眺望すると海から山への広がりのある美しい自然的景観が見られます。

このように、海から山・山から海の東西方向の**「のびのび」**とした景観イメージ及び市街地の南北方向への**「ひろびろ」**とした景観イメージを大切にしていきます。

同時に、この景観特徴の背景には、自然の恵みとともに、農地の拡大から始まり、近世以降の都市づくりによる大村市ならではの景観の基礎となる市民の営みがあります。

そこで、大村市の景観形成を進める市民、事業者、行政が大村市の景観の特徴を共通して理解することができるように、大村市の景観特徴を表現するキーワードを用いて、景観計画の理念を以下のように定めます。

市民をつつみ込む**“のびのび”“ひろびろ”**とした
海と山が連続する大村の景観づくり

（２）基本目標

景観計画の理念を踏まえ、大村市の景観計画の基本目標を以下のとおり定めます。

〇基本目標１－自然が織りなす景観を守り、育む
〇基本目標２－地域の歴史・景観シンボルの継承と創造
〇基本目標３－多彩で楽しさを実感できる生活景観づくり
〇基本目標４－市民、事業者、行政の責任と協働による景観まちづくり

〇基本目標１－自然が織りなす景観を守り、育む

大村市の景観骨格の基本的な要素を構成しているのは、多良山系とこれにつながる丘陵地です。この山の緑及び生産緑地の緑そのものが景観対象として重要であるとともに、市街地の背景として近景を際立たせる遠景となり、大切な役割を果たしています。

山の自然は、見る対象だけでなく、市街地、大村湾、西彼杵半島を眺望する場や市民が自然と触れ合う場としても重要であり、既に保全的活用を進めているところもあります。

こうしたことから、多良山系とこれにつながる丘陵地は、景観形成の要として保全を図っていくものとし、また地域の特性を活かしながら保全的活用を図っていきます。

計画テーマ

① 多良山系の自然資源を保全し、良好な眺望景観として次世代に引き継ぎます。
② 山からまち、海、対岸へのパノラマ景観を守ります。

〇基本目標２－地域の歴史・景観シンボルの継承と創造

大村市は、都市としての長い歴史を背景に特徴ある景観を形成し、市民に親しまれている地域が多くあります。市外からの多くの観光客が訪れている玖島城址・大村公園や五小路周辺地区のほか、駅前アーケード街、市街地に散在する社寺境内地の樹林、旧街道沿いの歴史的なまちなみ、ランドマークや眺望点など、大村市の代表的景観を楽しめる場があります。

景観的な特徴を持つ地域や資源を、地域の景観シンボルとして守り、育てていきます。特に、観光客や買い物客など人の多く集まる場所での景観形成とともに、新しい景観シンボルの創造を積極的に進めていきます。

計画テーマ

① 特徴ある歴史的景観・文化的景観を適切に保全・維持し、次世代に引き継ぎます。
② 次世代以降においても親しまれる、個別のデザインの質を高めたシンボル景観づくりを進めます。

○基本目標３－多彩で楽しさを実感できる生活景観づくり

大村湾沿いの平坦地には、主要な幹線道路や鉄道が走り市街地が形成されています。その一部平坦地及び丘陵地は、農地・農村集落が広がっており、徐々に住宅地の開発が進んでいます。

また、海岸では、古くからの漁港・漁村集落があります。このような多様な土地利用の状況から、日常的にそれぞれの地域で特徴ある地域景観を楽しむことができます。

そこで、それぞれの地域生活に密着した特徴ある地域景観の保全を進めていきます。同時に、地域景観を阻害するような建造物等はなるべく排除し、周辺景観との調和を求めていくものとします。

計画テーマ

① 地域の景観特性を活かした景観形成のために、各地域の景観形成の基本的方向を明らかにします。

② それぞれの地域の景観を守り、育て、さらには良い景観づくりを誘うために、規制のルールや誘導支援策などを整えます。

○基本目標４－市民、事業者、行政の責任と協働による景観まちづくり

大村市は、長崎県内でも先駆けて景観形成の重要性に着目し、景観条例の制定などにより景観形成を進めてきている都市です。市民、事業者、行政がそれぞれの役割を担って取り組んできましたが、市民アンケート調査の結果では、まだまだ大村市の景観に対する満足度は高いとは言えない状況です。また、条例や条例に基づく各種の景観施策の認知度も低い状況にあります。

景観形成は、行政の力だけでは進みません。市民や事業者が行う建物や工作物の建設や開発等において、地域の景観へ影響を及ぼすことがある場合には、市民や事業者自らの主体性を持った取り組みが必要です。

そこで、市民・事業者・行政の役割を明確にし、一人ひとりが景観に関心を持って景観をまもり、育てることができるような周知・啓発活動や景観形成の実績に対する顕彰、景観形成の活動支援等を総合的にかつ継続的に進め、市民、事業者、行政が一丸となった景観まちづくりに取り組んでいきます。

計画テーマ

① 景観形成の意義や必要性及び一人ひとりの取り組みの重要性について、皆が共通意識を持って取り組みます。

② それぞれの役割を持続して発揮していくため、景観意識啓発や景観形成の推進体制などの機能的な仕組みをつくります。

３－２景観形成の基本方針

大村市の景観形成の基本方針は、「景観構造別の景観形成方針」と「景観類型別の景観形成方針」によって構成し、全市域について示します。また、地域によっては、この2つの方針が重複することがあります。

◆景観構造別の景観形成方針

景観の拠点性や景観軸など景観構造上重要な景観資源（骨格）に関する景観形成方針

①景観拠点（点的な景観資源）

②景観軸（線状につながる景観）

③景観エリア（面的な景観）

◆景観類型別の景観形成方針

土地利用現況、景観領域等を基にした景観類型区分による地域景観に関する景観形成方針

（なお、類型区分は、「大村市都市景観基本計画－平成12年」を踏まえますが、「道路景観」「水辺空間」は、上記の景観構造別景観形成方針の「景観軸」として捉えるので8区分とします。）

①都市拠点景観（大村駅周辺地区、新大村駅周辺地区）

②周辺市街地景観

③施設景観

④丘陵住宅地景観

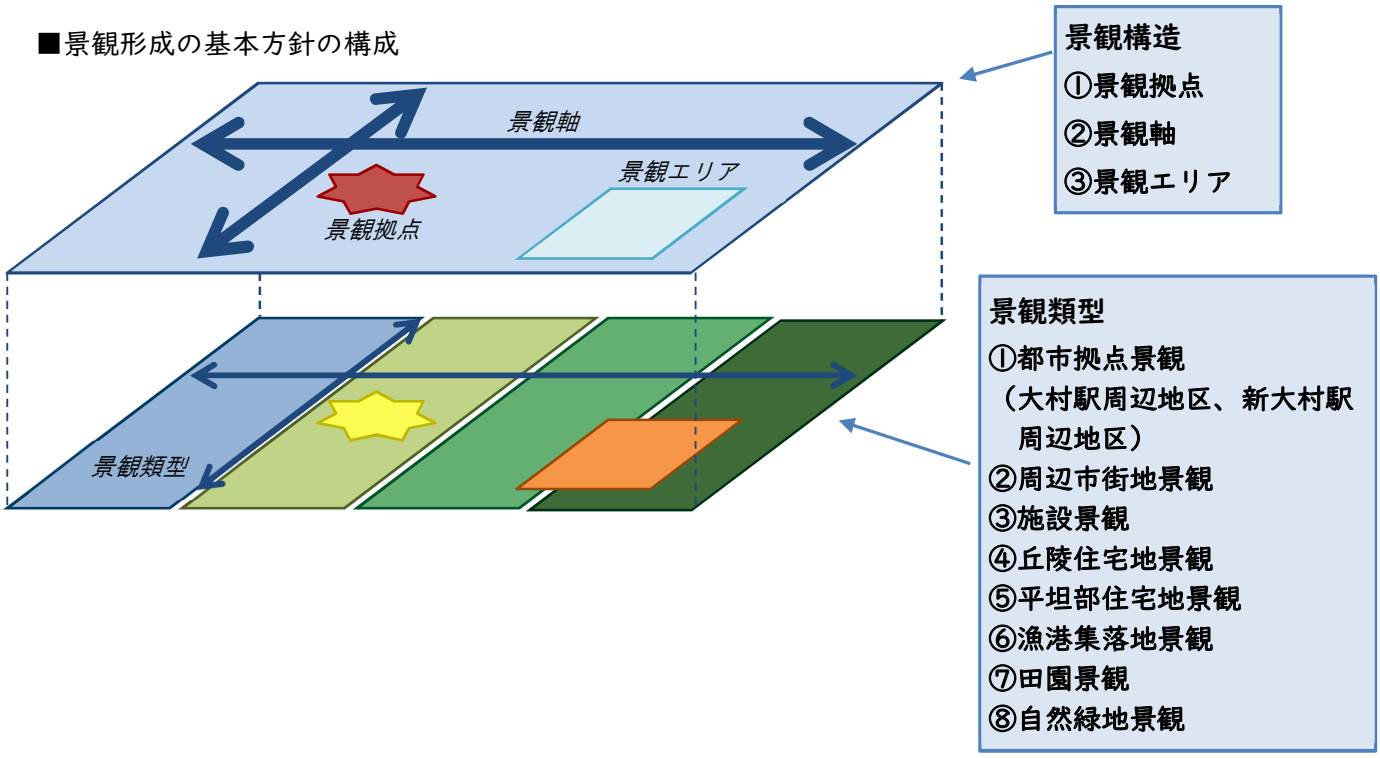
⑤平坦部住宅地景観

⑥漁港集落地景観

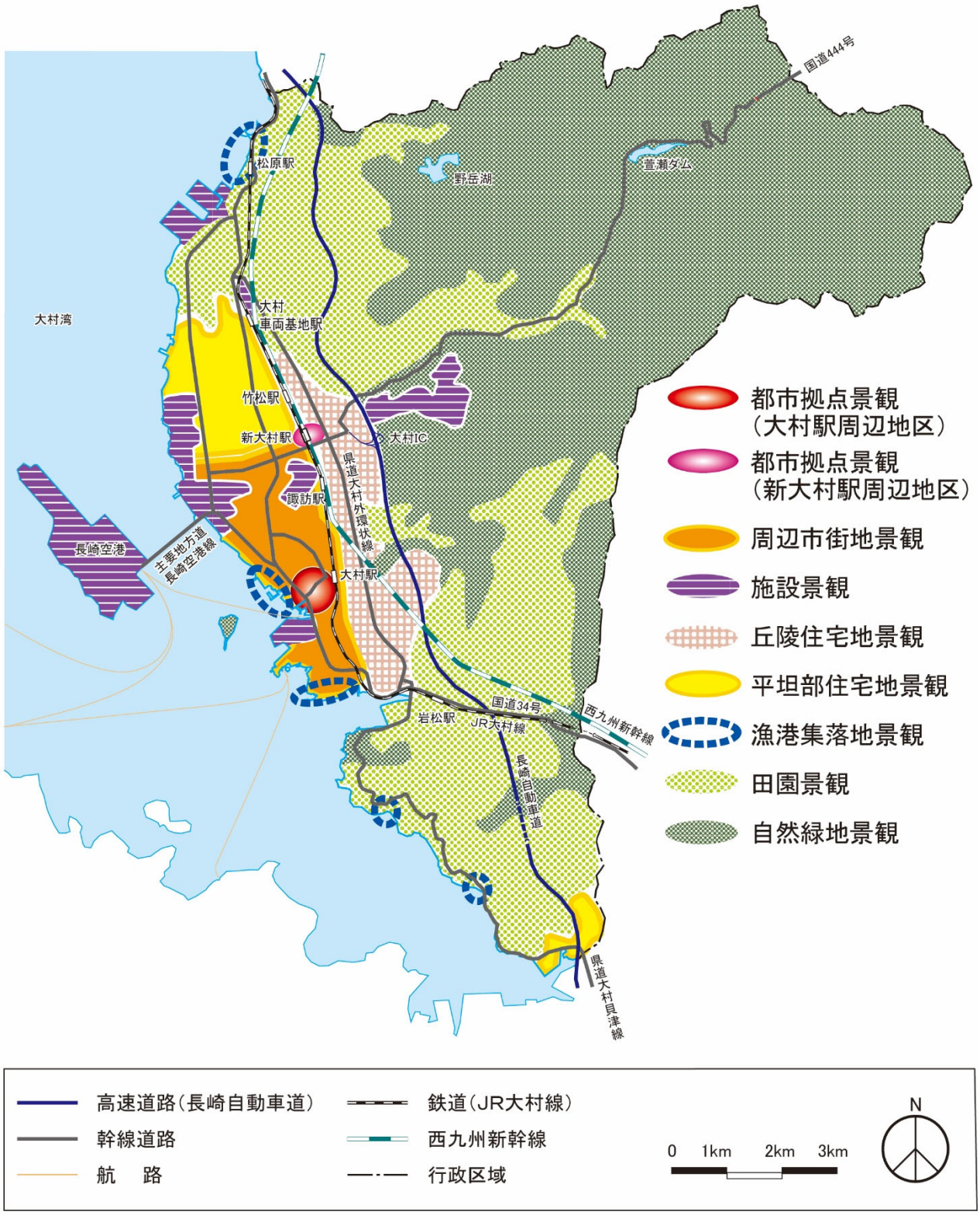
⑦田園景観

⑧自然緑地景観

■景観形成の基本方針の構成



■景観類型図



＊景観類型は「大村市都市景観基本計画（平成 12 年）」で設定されている 10 類型です。「大村市都市景観基本計画」の策定後、西九州新幹線及び新大村駅周辺地区整備を除き、大きな景観変化を生じていないことから、この類型を踏襲します。なお、類型の地域区分については、次のとおり一部修正しました。

○県道大村外環状線の開通による「道路景観」の追加
○農業振興地域農用地区域を基本に「田園景観」を設定（エリア区分線の修正）
○既存の漁港及び漁村を「漁港集落地景観」に追加
○都市拠点景観（新大村駅周辺地区）の追加
○西九州新幹線大村車両基地の区域を「施設景観」に追加

（１）景観構造別の景観形成方針

景観構造別の景観形成方針は、大村市の景観構造を踏まえ、景観拠点、景観軸、景観エリアに分類し、それぞれについて景観形成の基本的方向性を定めました。

○景観拠点（大村市を代表する点的な景観資源、広域対象のランドマーク・眺望点）

※市民アンケート（平成 24 年度）から上位を選定

番号	地名・名称等	景観特性	景観形成の基本的方向
①	大村公園及び周辺地区	大村藩の玖島城が築かれ、270 年余り政治の中心でした。現在は、石垣や堀が残り、公園として整備されています。 桜（日本さくら名所百選）や花菖蒲が美しく、毎年多くの人出でにぎわいます。 市民アンケート調査では、好きな景観・大切にしたい景観の第 1 位です。	・歴史的物件等の保全 ・景観樹木・樹林の保全 ・周辺景観に配慮した施設景観の誘導
②	野岳湖公園及び周辺地域	多良岳県立公園に含まれる山あいの湖とその周辺が公園として整備され、市民のレクリエーションの場として親しまれています。 市民アンケート調査では、好きな景観・大切にしたい景観の第 2 位です。	・自然の樹林と湖の美しさが調和した景観の形成 ・自然とのふれあいの場の創出
③	旧円融寺庭園・護国神社	国の名勝に指定されている江戸初期様式の石組庭園です。東西 50m にも及ぶ斜面を利用して作られたもので、当時の姿を残しています。また、桜の名所としても親しまれています。 市民アンケート調査では、好きな景観・大切にしたい景観の第 3 位です。	・指定文化財との調整を図りながら歴史資源と自然が調和した景観の保全 ・景観樹林の保全
④	昊天宮神社及び境内地樹林	神社内の社叢は、市の天然記念物に指定されています。 樹齢の長い境内林が歴史の重みを感じさせ、地域の緑のシンボルとなっています。	・景観樹林の保全
⑤	本経寺及びその境内・白壁	大村藩主の菩提寺で、墓所は国の史跡に、大きなソテツは市の天然記念物に指定されています。 境内外周部には、白壁が続き、歴史と落ち着いた雰囲気を感じることができます。	・歴史的なたたずまいをみせる景観の形成 ・白壁の保全と周辺地域の景観誘導 ・景観樹木の保全
⑥	長崎空港	昭和 50 年に開港した世界初の海上空港です。大村湾の中にあるため、陸側からは景観のランドマークとなり、空港からは海岸沿いに広がる市街地とその背景の多良岳の緑が美しく見えます。	・海上に浮かぶランドマークとして周辺の自然景観と調和した施設景観の誘導

番号	地名・名称等	景観特性	景観形成の基本的方向
⑦	眺望の視点場	市域全体が西向きの斜面地形なので、各所の高台から海側へのパノラマ景観が楽しめます。 また、海岸沿岸では、大村湾への眺望が広がり、特に海に沈む夕陽が美しく市民に親しまれています。 森園公園（⑦-1）、琴平岳（⑦-2）、日岳（⑦-3）、鉢巻山（⑦-4）	・パノラマ景観の確保 ・視点場の整備

○景観軸（線状につながる景観）

番号	地名・名称等	景観特性	景観形成の基本的方向
❶	河川・海岸	大村市の河川は、多良山系を源に市街地内を通り大村湾につながっています。 河川は、まちに連続したオープンスペースや表情をつくり、また水の流れは潤いややすらぎを与えてくれる重要な景観資源です。また、海岸線は、大村市の西側の輪郭を形成しており、波穏やかな大村湾と南北約 50km にわたって接しています。 埋立地や空港その他の大規模施設によって市民が海岸に近づけない箇所もありますが、公園や道路などの一部では安全に海岸に近づける箇所もあります。 郡川（❶-1）、大上戸川（❶-2）、内田川（❶-3）、鈴田川（❶-4）、海岸線（❶-5）	・水と緑による親水景観軸の形成 ・連続する親水空間の確保 ・住民、事業者が河川・海岸景観に愛着と誇りを持ち、日常的な維持管理を行うことができる体制・支援づくり
❷	道路	都市の主要動線となる道路は、都市の形の原型となり、同時に景観の骨格となることで、まちの表情や印象・イメージをつくります。 沖田線（❷-1）、杭出津松原線（❷-2）、県道大村外環状線（❷-3）、富の原鬼橋線（❷-4）、国道 444 号・主要地方道長崎空港線（❷-5）、国道 34 号（❷-6）、大村駅前乾馬場線（❷-7）	・地域間の主要動線で、利便性・快適性のある景観形成軸の形成 ・各種施設が集積する道路沿道地区の景観形成を図るための規制誘導の推進 ・規制誘導のルールに関する住民、事業者の理解の促進 ・住民、事業者が道路景観に愛着と誇りを持ち、日常的な維持管理を行うことができる体制・支援づくり

番号	地名・名称等	景観特性	景観形成の基本的方向
❸	旧街道（長崎街道）	江戸時代には、小倉と長崎をつなぐ長崎街道が整備され、これが大村を通り、当時の塀や建築物が一部に残っています。 街道沿いには、松原宿と大村宿がつくられました。駅馬、本陣・脇本陣があった大村宿は、おおよそ現在の中央商店街の位置であり、これを意識したサインや看板を設置して、通りの一体感を作る工夫がされています。松原宿は、松原本町を通る県道松原停車場線沿道地域で、古い建築物、塀がありますが、連続して残っていません。	・まちの長い歴史を感じられる歴史景観軸の形成 ・歴史的景観資源の掘り起こし、再発見による市民意識の啓発 ・住民、事業者が旧街道景観に愛着と誇りを持ち、日常的な維持管理を行うことができる体制・支援づくり

〇景観エリア（面的に広がる特徴的な景観特性エリア）

番号	地名・名称等	景観特性	景観形成の基本的方向
i	上小路周辺地区	玖島城の周囲には、武家屋敷が形成されました。その中で、上小路周辺地区は、石垣、塀、門など現在もその面影を強く残しています。	・景観形成のための規制誘導ルールに関する住民理解の促進 ・歴史的物件等の保全と周辺景観に配慮したまちなみ景観の規制誘導の推進 ・まちなみ景観に調和した舗装整備、案内サイン等の公共施設整備による景観意識の向上 ・住民、事業者が主体的に景観形成を行うよう誘導する景観形成支援施策の充実
ii	松原地区	漁村として集落が形成され、その後長崎街道の宿場町として栄えました。集落の東側に国道を整備したことにより、自動車交通量も少なく、静かで落ち着いた地区です。自然海岸やのどかな漁港の景観が楽しめます。また、親水護岸、広場等が整備された松原しおさい公園があり、海に突き出た釣り場施設は海と山側の 360 度の眺望がすばらしいところです。 歴史を感じる建物、塀、神社が残っており、街道の雰囲気を味わうために訪れる観光客や、まち歩きの市民イベントも開催されています。	・海岸線、漁港、漁村が一体となった集落景観の保全 ・旧街道の歴史を感じる塀や建築物、樹林地等の保存

番号	地名・名称等	景観特性	景観形成の基本的方向
iii	大村駅前商店街地区	宿場町として発展し、JR 大村駅を中心に商業施設の集積が進みましたが、近年集客力が低下し、空店舗や空地が増えています。民間による市街地再開発事業の完了、市営住宅の建替に伴う本町アパート・市民交流プラザの整備、「ミライ on」（県立・市立一体型図書館及び歴史資料館）の開館など、新たなまちの顔ができました。	・市の中心市街地にふさわしいシンボルづくり ・にぎわいと活気ある景観形成
iv	幸町地区	シーハットおおむら（大村市体育文化センター）、大村市屋内プール、市役所の他、多くの大規模商業施設など、多様な集客機能施設が立地し、毎日多くの人が訪れています。	・商業・文化・行政等の集積による人の多く集まる拠点としての景観の形成
v	新大村駅周辺地区	西九州新幹線及び新大村駅は、令和４年９月に開業し、新たな公共交通網が形成されました。また、新大村駅周辺地区では土地区画整理事業により、新たなまちづくりが進められています。	・新たな交通拠点、市の顔としての景観の形成 ・「西九州新幹線新大村駅の設置によって広域的な交流人口の増加が見込まれるため、駅周辺における都市機能や交流機能の充実を図り、本市の新たな都市拠点の形成を図る」（立地適正化計画）
vi	多良山系	経ケ岳（1,076m）、五家原岳（1,057m）が大村市の東側の市域境界に並んでおり、多良山系を形づくっています。山頂部は傾斜度が大きいため、主に自然植生です。 山頂部から少し下った傾斜度の小さいところはスギ、ヒノキの針葉樹林です。この地域の萱瀬ダム上流域の黒木渓谷や黒木地区の山村集落は、田園と自然景観が調和し、訪れる人に安らぎを与えます。 海側に向かって傾斜しているため、平坦部からは、多良山系の山並みがきれいに見えます。	・遠景の景観エッジ（縁）、ランドマークとなる山の稜線、緑の景観背景の保全 ・黒木渓谷、萱瀬ダム周辺地域での自然景観の保全

■景観構造別景観形成方針図

景観拠点
- ①大村公園及び周辺地区
- ②野岳湖公園及び周辺地域
- ③旧円融寺庭園・護国神社
- ④昊天宮神社及び境内地樹林
- ⑤本経寺及びその境内・白壁
- ⑥長崎空港
- ⑦眺望の視点場
  - ⑦-1 森園公園
  - ⑦-2 琴平岳
  - ⑦-3 日岳
  - ⑦-4 鉢巻山

景観軸
- ❶河川・海岸
  - ❶-1 郡川
  - ❶-2 大上戸川
  - ❶-3 内田川
  - ❶-4 鈴田川
  - ❶-5 海岸線
- ❷道路
  - ❷-1 沖田線
  - ❷-2 杭出津松原線
  - ❷-3 県道大村外環状線
  - ❷-4 富の原鬼橋線
  - ❷-5 国道444号・主要地方道長崎空港線
  - ❷-6 国道34号
  - ❷-7 大村駅前乾馬場線
- ❸旧街道（長崎街道）

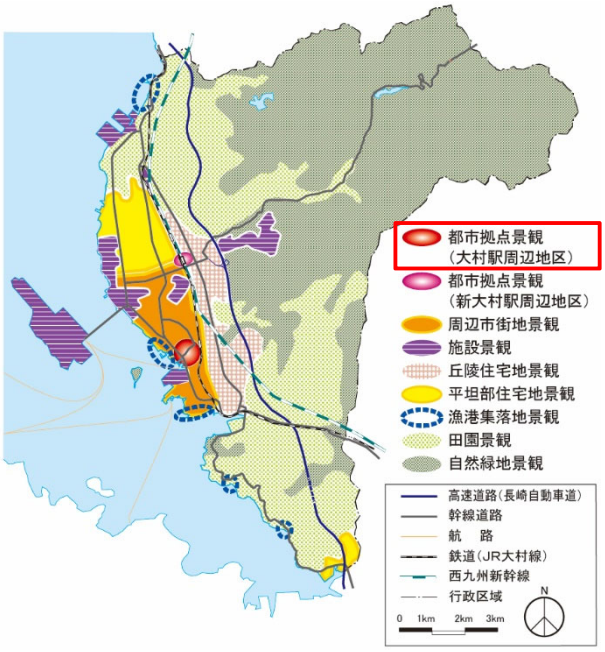
景観エリア
- i 上小路周辺地区
- ii 松原地区
- iii 大村駅前商店街地区
- iv 幸町地区
- v 新大村駅周辺地区
- vi 多良山系

（２）景観類型別の景観形成方針

８つの景観類型別の景観特性から、それぞれの景観形成の基本的方向について、次のとおり定めました。

①-1 都市拠点景観（大村駅周辺地区）

主な景観資源	自然的景観資源	・内田川 ・大上戸川
	景観建造物	・JR 大村駅 ・ミライ on
	まちなみ景観	・大村駅通り ・大村宿本陣通りアーケード ・旧長崎街道



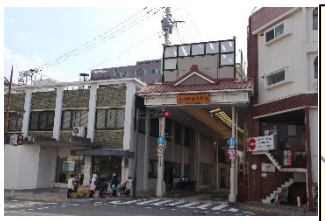
景観特性

・旧長崎街道の大村宿として駅馬、本陣・脇本陣があった地域で、間口が狭く奥行きの長い敷地が並んでいます。街道が走り宿場町であったことを思い起こすようなサインや看板がアーケード商店街に設置され、地域の歴史的特徴を表現したまちなみ景観づくりが進められています。

・明治時代に入り鉄道の敷設に伴い大村駅が設置され、アーケード商店街や市民会館、図書館、バスターミナルなどが立地し、大村市の商業、文化、交通の拠点として発展してきました。また、大村駅から国道 34 号までの市道大村駅前線は、毎年開催される、おおむら夏越し祭のメイン会場として活用され、まちのシンボルロードとして親しまれています。

・ミライ on は、県立・市立一体型図書館及び歴史資料館として再整備され、令和２年度第 10 回大村市景観賞を受賞するなど、まちのシンボルとして市民に親しまれています。

大村駅通り



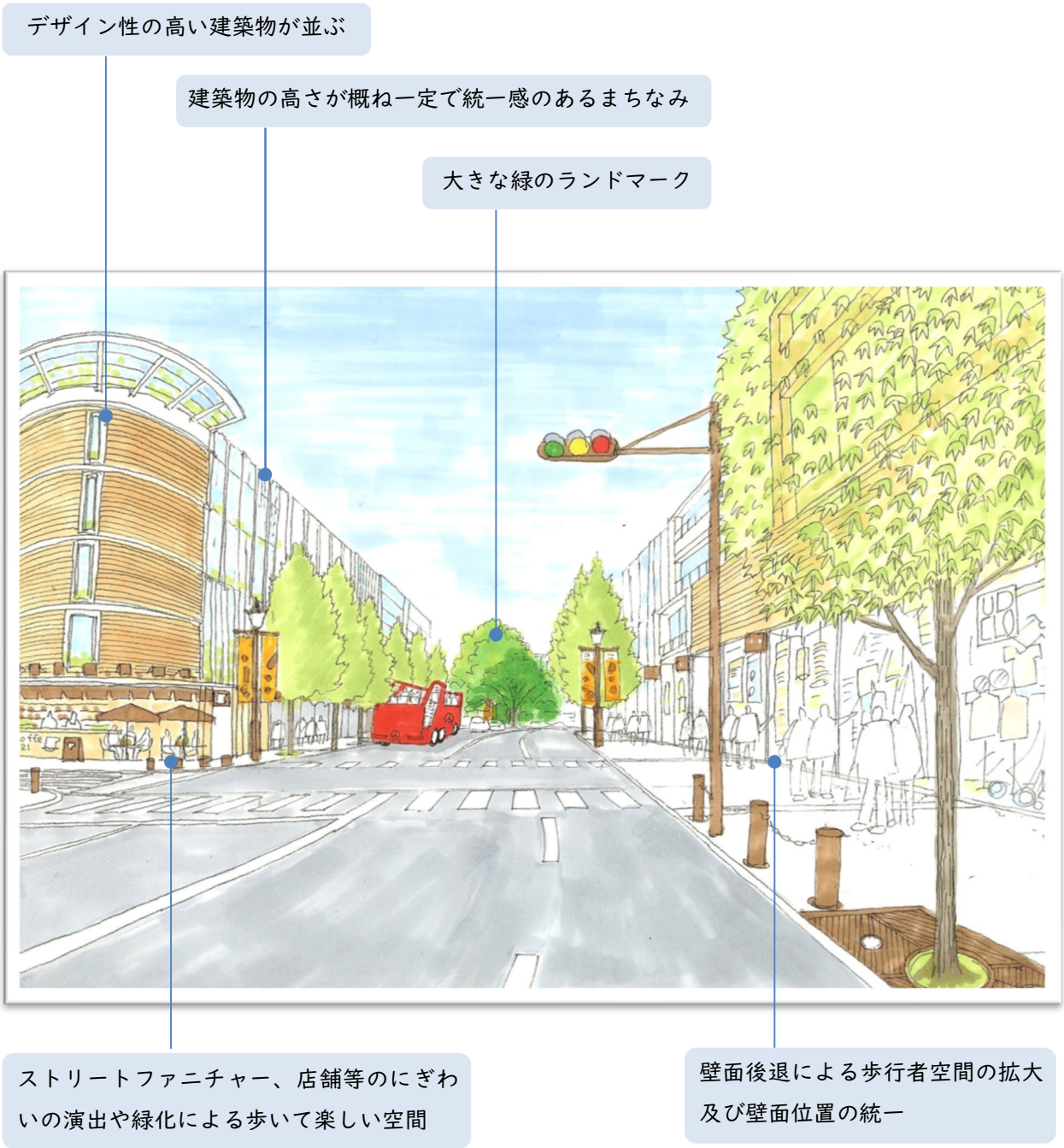
大村宿本陣通りアーケード

ミライ on

都市拠点景観（大村駅周辺地区）区域

都市拠点景観 （大村駅周辺地区） 景観形成の基本的方向	○商業地のにぎわいを演出する景観の形成 ○大村市の中心地として質の高い景観の形成 ○新たなまちのシンボル景観の創造 ○周辺景観に配慮した大規模建築物の景観誘導

■都市拠点景観（大村駅周辺地区）イメージ

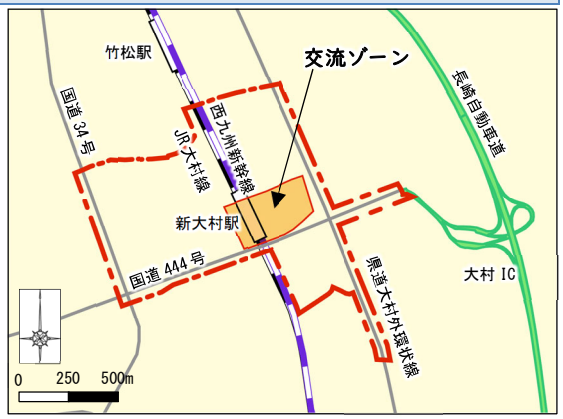


①-2 都市拠点景観（新大村駅周辺地区）

主な景観資源	自然的景観資源	-
	景観建造物	・西九州新幹線　新大村駅
	まちなみ景観	・土地区画整理事業により整備された道路空間 ・新大村駅から新大村駅公園に至る遊歩道

景観特性	・東方に多良岳山系を望み、西方に長崎空港及び大村湾が広がっており、空と海、山を意識できる立地にある。 ・ほぼ南北に西九州新幹線が整備され、南北方向の高速鉄道による動線と、東側の大村インターチェンジと西方の長崎空港を結ぶ広域交通の要衝となる。 ・新大村駅周辺地区と中心市街地（大村駅）とを“両輪”とした 都市構造への転換。

東方上空から新大村駅を望む



都市拠点景観（新大村駅周辺地区）区域

新大村駅から多良山系を望む

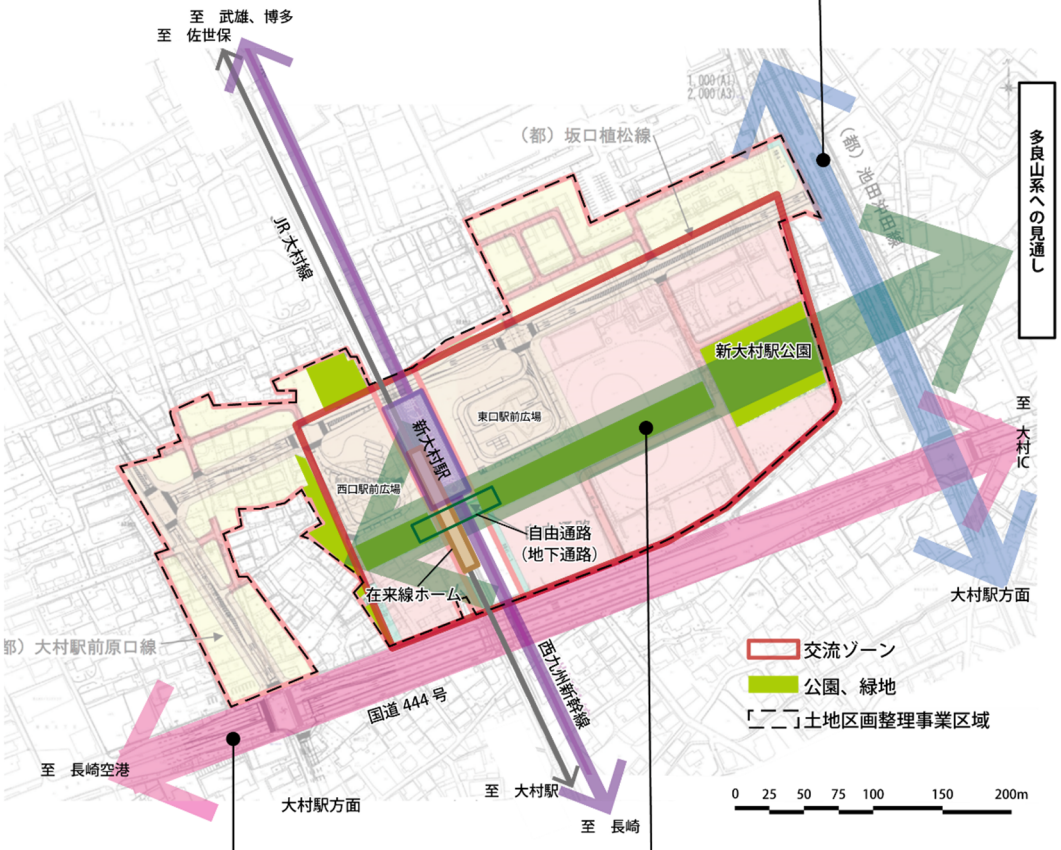
県道大村外環状線

都市拠点景観 （新大村駅周辺地区） 景観形成の基本的方向	○「長崎県の玄関口」にふさわしい新市街地のにぎわいを演出する質の高い景観の形成 ○若者が集い、躍動感を演出するとともに、花と緑に囲まれた新しい生活を提案する新たなまちのシンボル景観の創造 ○周辺景観に配慮した大規模建築物の景観誘導 ○交流人口を意識した適切な屋外広告物の規制・誘導

■都市拠点景観（新大村駅周辺地区・交流ゾーン）景観形成方針図

都市拠点景観（新大村駅周辺地区）
交流ゾーン景観形成方針図

新大村駅周辺地区内の土地区画整理事業区域を中心とした新しい市街地形成のエリアを「交流ゾーン」として位置づけ、「長崎県の玄関口」にふさわしい景観形成を図る。また、若者が集い、交流する躍動感のある空間として、新大村駅公園と一体的に利用できる広がりある空間の形成を図る。



交通景観軸

県道大村外環状線及び沿道地域は、市街地と農山村地域とをつなぐ交通景観軸として位置づけ、新大村駅周辺地区の交流ゾーンの顔として、自動車交通等に対し中心市街地景観をアピールできるような景観形成を図る。

空と大地の景観軸

国道 444 号沿いのエリアは、「空と大地」の一体感を演出する景観軸として、長崎空港から新大村駅付近を経て多良山系へと至る見通しを確保するとともに、新大村駅のメインアクセス道路としてふさわしい、花と緑に囲まれた景観形成を図る。

緑と交流の景観軸

新大村駅から新大村駅公園へと至る遊歩道を中心として、多良山系への眺望を確保し、花と緑に囲まれた緑豊かな景観形成を図るとともに、イベントを展開するなど、若者が集い、躍動感のある拠点として、交流やにぎわいを演出する景観形成を図る。

■都市拠点景観（新大村駅周辺地区）イメージ

景観形成のイメージ	
交流ゾーン	○「豊かな自然と歴史・文化が響きあい　未来へつながる　駅」として整備された駅舎と調和した、長崎県の玄関口にふさわしいまちなみ。 ○若者が集い、交流する躍動感のある空間として、隣接する公園と一体的に利用できる広がりある空間。 ○駅舎と調和したデザイン性の高い建築物。 ○建築物の高さが概ね一定で統一感のあるまちなみ。 ○建物のデザインと一体化して設置された質の高い屋外広告物。
空と大地の景観軸	○新市街地と一体となったにぎわいのある沿道。 ○多良岳山系が見通せる広がりある景観。 ○花と緑に囲まれた、自動車による移動景観が楽しい空間。 ○沿道のまとまりのあるまちなみ形成と賑わいづくりに配慮した屋外広告物。
緑と交流の景観軸	○山並みなど自然が感じられる潤い豊かな、開放的でくつろげる空間。 ○多良岳山系が見通せる広がりある景観。 ○花や緑の中ににぎわいのあるシンボル性の高い空間 ○低層部に集約し、活気と賑わいのある歩行者空間の形成に配慮した質の高い屋外広告物。
交通景観軸	○自転車専用道路や街路樹が整備された広幅員道路であるため見通しが良く広がりのある空間。 ○背景となる山並みや農山村地域の景観と調和した沿道。 ○沿道のまとまりのあるまちなみ形成と賑わいづくりに配慮した屋外広告物。

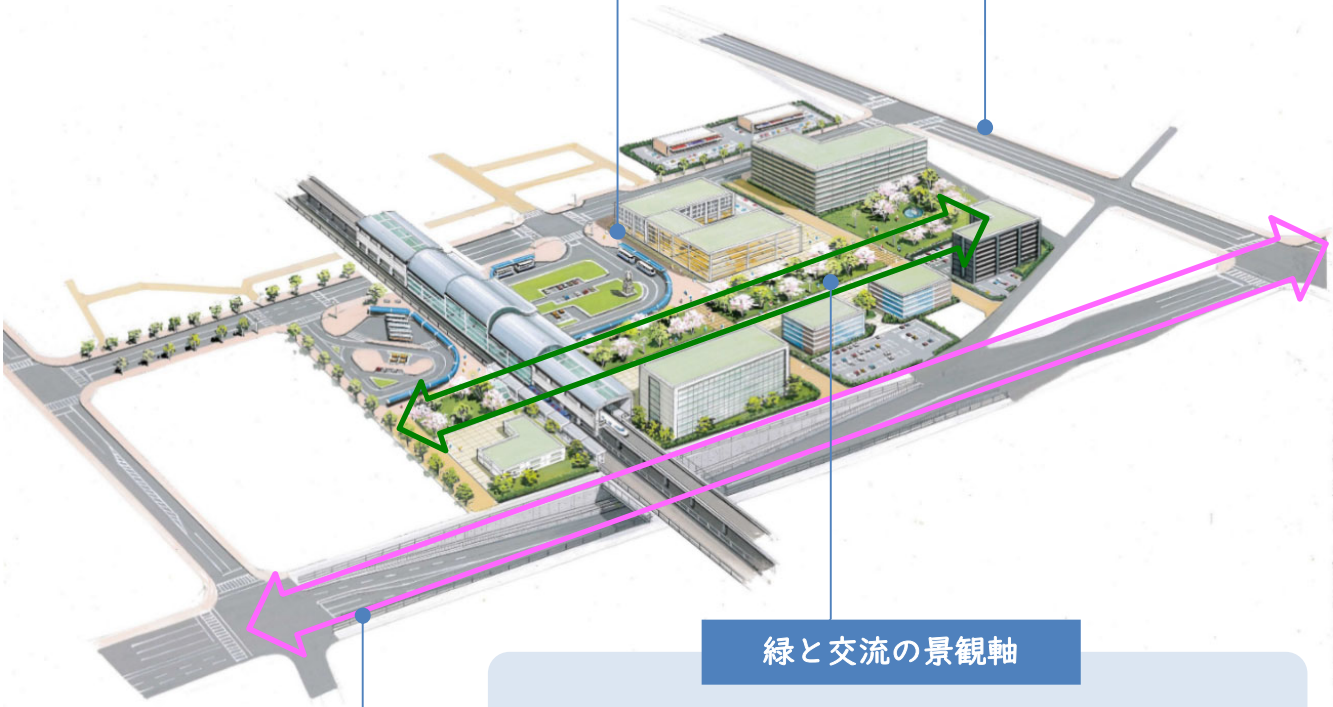
■交流ゾーン景観イメージ

交流ゾーン

○長崎県の玄関口にふさわしいまちなみ
○隣接する公園と一体的に利用できる広がりある空間
○駅舎と調和したデザイン性の高い建築物
○建築物の高さが概ね一定で統一感のあるまちなみ
○建物のデザインと一体化して設置された質の高い屋外広告物

交通景観軸

○広幅員道路であるため見通しが良く広がりのある空間
○背景となる山並みや農山村地域の景観と調和した沿道
○沿道のまとまりのあるまちなみ形成と賑わいづくりに配慮した屋外広告物



緑と交流の景観軸

○自然が感じられる潤い豊かな、開放的でくつろげる空間
○多良岳山系が見通せる広がりある景観
○花と緑の中ににぎわいのあるシンボル性の高い空間
○活気と賑わいのある歩行者空間の形成に配慮した質の高い屋外広告物

空と大地の景観軸

○新市街地と一体となったにぎわいのある沿道
○多良岳山系が見通せる広がりある景観
○花と緑に囲まれた、自動車による移動景観が楽しい空間
○沿道のまとまりのあるまちなみ形成と賑わいづくりに配慮した屋外広告物

【参考】新大村駅周辺地区　「まちづくりのテーマと基本方針」

まちづくりのテーマ 「世界へ、そして未来につながる・緑と歴史の大舞台 新大村」
豊かな自然と歴史が人々を迎え、長崎、九州から全国、世界へ、そして未来につながる“大村”を実感できる「新幹線」・「空港」・「ＩＣ」がつながるまちづくり
まちづくりの基本方針
花と緑に囲まれた駅づくり・拠点づくり 若者が集い・躍動感のある拠点づくり 便利で魅力的な新しい生活を提案する拠点づくり

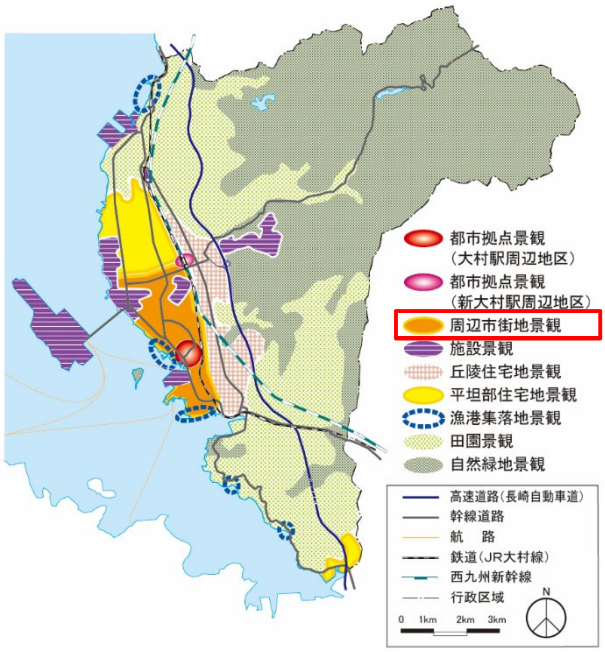
【参考】新大村駅 駅前広場および周辺部　「景観コンセプト」

「豊かな自然と歴史・文化が響きあい未来へつながる まちづくり」
「波静かな琴の海と呼ばれる大村湾」や「雄大な多良の山々」の豊かな自然と「日本初のキリシタン大名 大村純忠」をはじめ、純忠が派遣した「天正遣欧少年使節」などの長い歴史・文化が響きあい育まれた、水と緑と花につつまれた大村。 新大村駅は、この豊かな自然と長い歴史を感じることができる駅にするとともに未来の大村へつながる大舞台（駅）として整備される。 この駅を中心とした まちづくりにおいても、「 未来へつながる まちづくり 」 として、人の集いや交流に配慮した空間を目指し、整備していくものとする。

新大村駅 駅舎

②周辺市街地景観

主な景観資源	自然的景観資源	・旧円融寺庭園 ・本経寺のソテツ ・大村神社のオオムラザクラ、クシマザクラ、マキ ・玖島崎樹叢 ・大村公園のハナショウブ
	歴史的景観資源	・大村藩主大村家墓所（墓碑群） ・五教館御成門 ・大村藩お船蔵跡 ・玖島崎古墳群
	景観建造物	・向陽高校　・中尾邸 ・阿古屋荘　・福山家五色塀 ・西川邸　　・藤本家住宅 ・大村市教育の館（旧梶山御殿） ・久松公認会計士事務所 ・天正遣欧少年使節顕彰之像
	まちなみ景観	・本経寺の白壁通り ・大村公園桜並木通り ・旧城下町の石垣通り ・旧長崎街道 ・五小路周辺地区
景観特性	・三城城、玖島城が築かれ、それらの城下町として開かれた地域で、その時代の歴史的物件や当時の雰囲気を残した通りが多く残り、静かで落ち着いた住宅地となっています。 ・玖島城址の大村公園には、季節を感じる花や樹叢があり、市民の憩いの場となっています。 ・その一方で、区画整理事業等の計画的な戸建住宅団地開発も行われ、整然とした区画割の敷地に住宅が並んでいます。 ・一部地域には、武家屋敷の名残の石垣や生垣が続く通りがあり、当時の雰囲気を感じることができます。	



大村公園

本経寺の白壁

周辺市街地景観 景観形成の基本的方向	○旧来からの商業地の魅力ある商業地景観の形成 ○緑やオープンスペースの確保により身近で快適な住宅地景観の形成 ○計画的な土地利用の誘導による新興市街地景観の形成 ○歴史的・文化的景観資源の保全

■周辺市街地景観イメージ

昔ながらのまちなみを再現した建物、看板等

周辺地域のまちなみと調和した落ち着きある建物の外観、生垣等

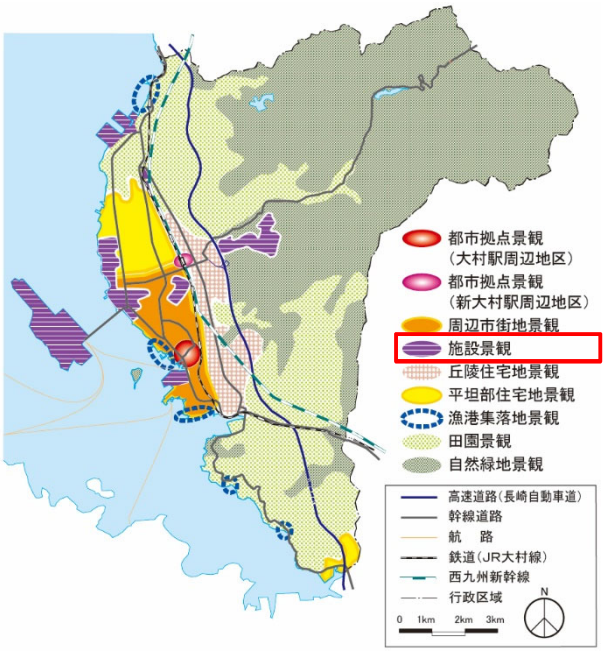
壁面後退によるオープンスペースでの緑豊かでうるおいのあるまちかど

伝統的な塀や石積み、建造物

歴史的な雰囲気に調和する案内標識、外灯等

③施設景観

主な景観資源	歴史的景観資源	・第 21 海軍航空廠本部防空壕跡
	景観建造物	・長崎県立大村工業高等学校 ・大村郵便局
	ランドマーク	・長崎空港
	眺望点（視点場）	・森園公園 ・長崎空港



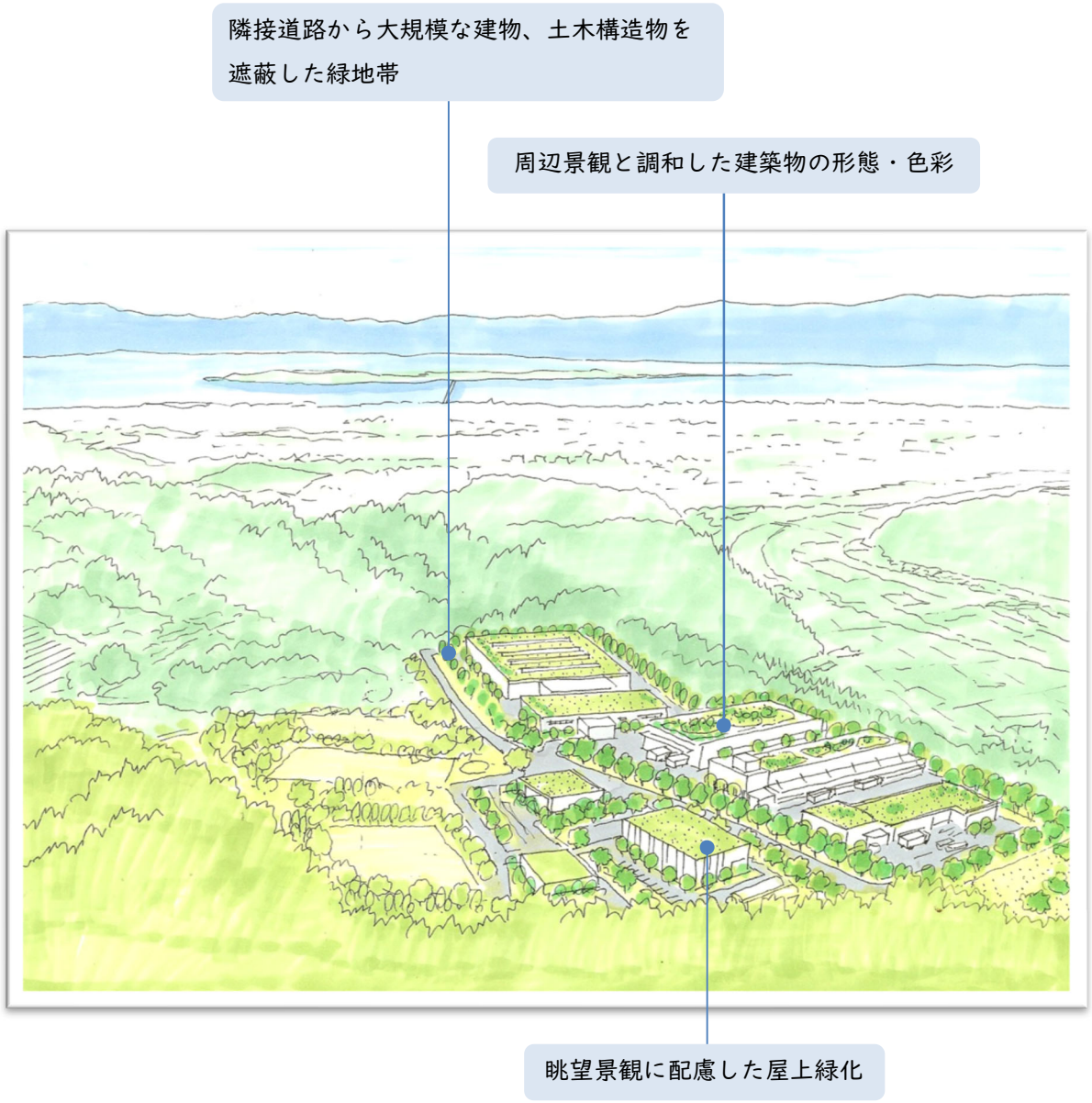
景観特性	・景観に影響を及ぼす一団のまとまりのある土地利用や大規模な施設となっている空港、発電所、自衛隊、工業団地、事業所、商業施設等が立地・集積する地域です。 ・広大な用地、大規模な構造物等であるため、遠景からも認識されます。 ・敷地外周部において緑化している箇所もありますが、塀や金網フェンス等が連続している箇所があります。

大村ハイテクパーク、オフィスパーク大村

長崎空港

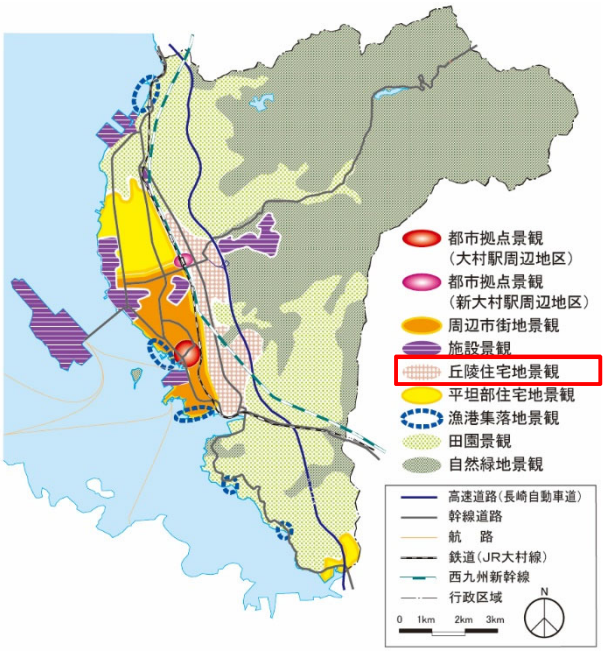
施設景観 景観形成の基本的方向	○施設周辺の地域特性や地域景観に調和した施設景観の形成 ○眺望景観に配慮した施設景観の形成 ○施設外周部での緑化による遮蔽など景観緩衝機能の導入による緩衝景観の形成

■施設景観イメージ



④丘陵住宅地景観

主な景観資源	自然的景観資源	・西教寺のユーカリノキ ・三城風致地区
	歴史的景観資源	・長与専斎の旧宅 ・長岡半太郎の屋敷跡 ・大村純忠終焉の居館跡 ・小路口鬼の穴古墳 ・中岳古戦場の跡 ・菅無田古戦場の跡 ・旧楠本正隆屋敷
	景観建造物	・独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
	まちなみ景観	・小路口町石積み塀通り ・旧長崎街道 ・五小路周辺



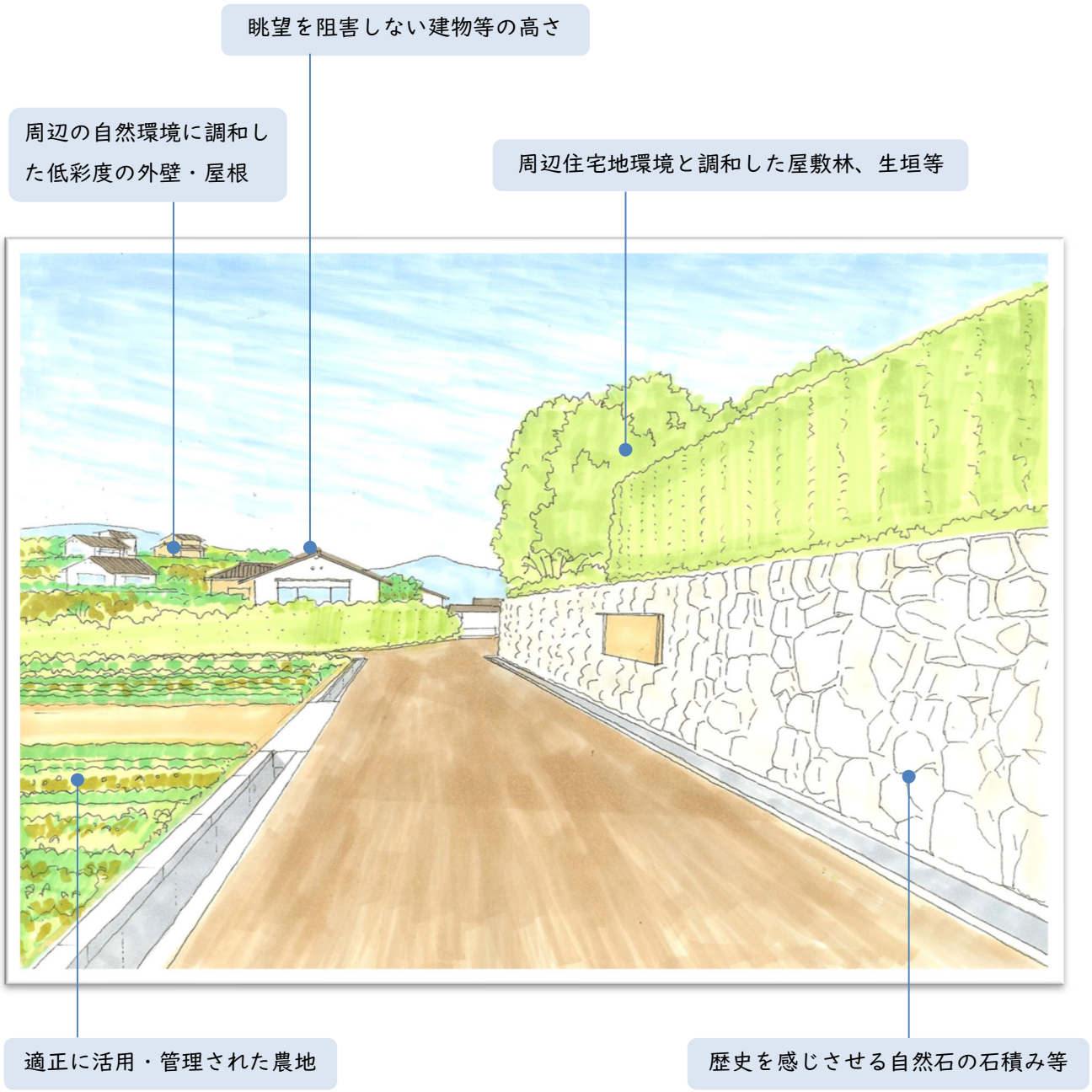
景観特性	・JR 大村線と長崎自動車道に挟まれた緩やかな丘陵部の地域です。古くからの市街地から少し離れた地域であることから、墓、古戦場、屋敷跡などの歴史的景観資源が散在し、残っています。 ・また、江戸時代の武家屋敷や街道等の雰囲気が残る通りがあります。 ・古くからの農家住宅等のほとんどは、敷地も広く屋敷林に囲まれて周辺の農地、樹林地と景観的に調和しています。一方で、小規模で無秩序に住宅地の開発が拡大化しており、住宅地と農地が混在しています。 ・西向きの丘陵地形のため、大村市街地、大村湾及び対岸の西彼杵半島への眺望が開けています。

小路口町石積み塀通り

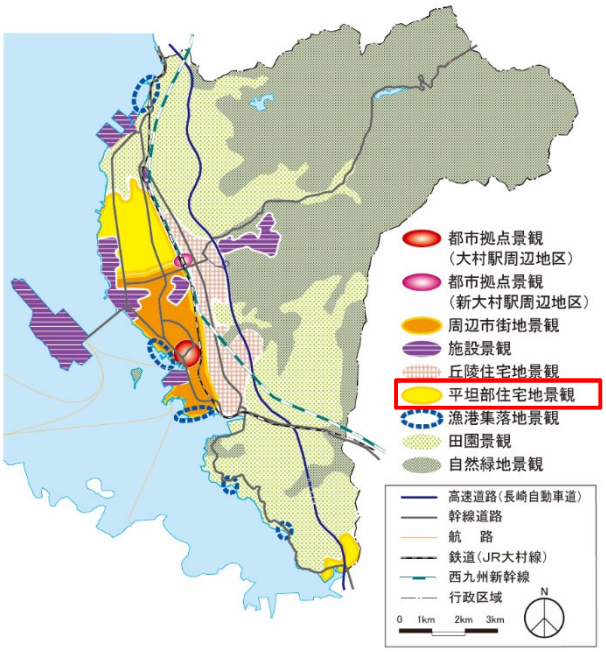
県道大村外環状線沿道地域

丘陵住宅地景観 景観形成の基本的方向	○屋敷林や生垣及び石垣の保全と、これに調和した住宅地景観の規制誘導 ○農地、斜面樹林地等の自然景観の保全 ○住宅地開発等に対する周辺環境との調和を促す景観の規制誘導 ○歴史的・文化的景観資源の保全

■丘陵住宅地景観イメージ



⑤平坦部住宅地景観

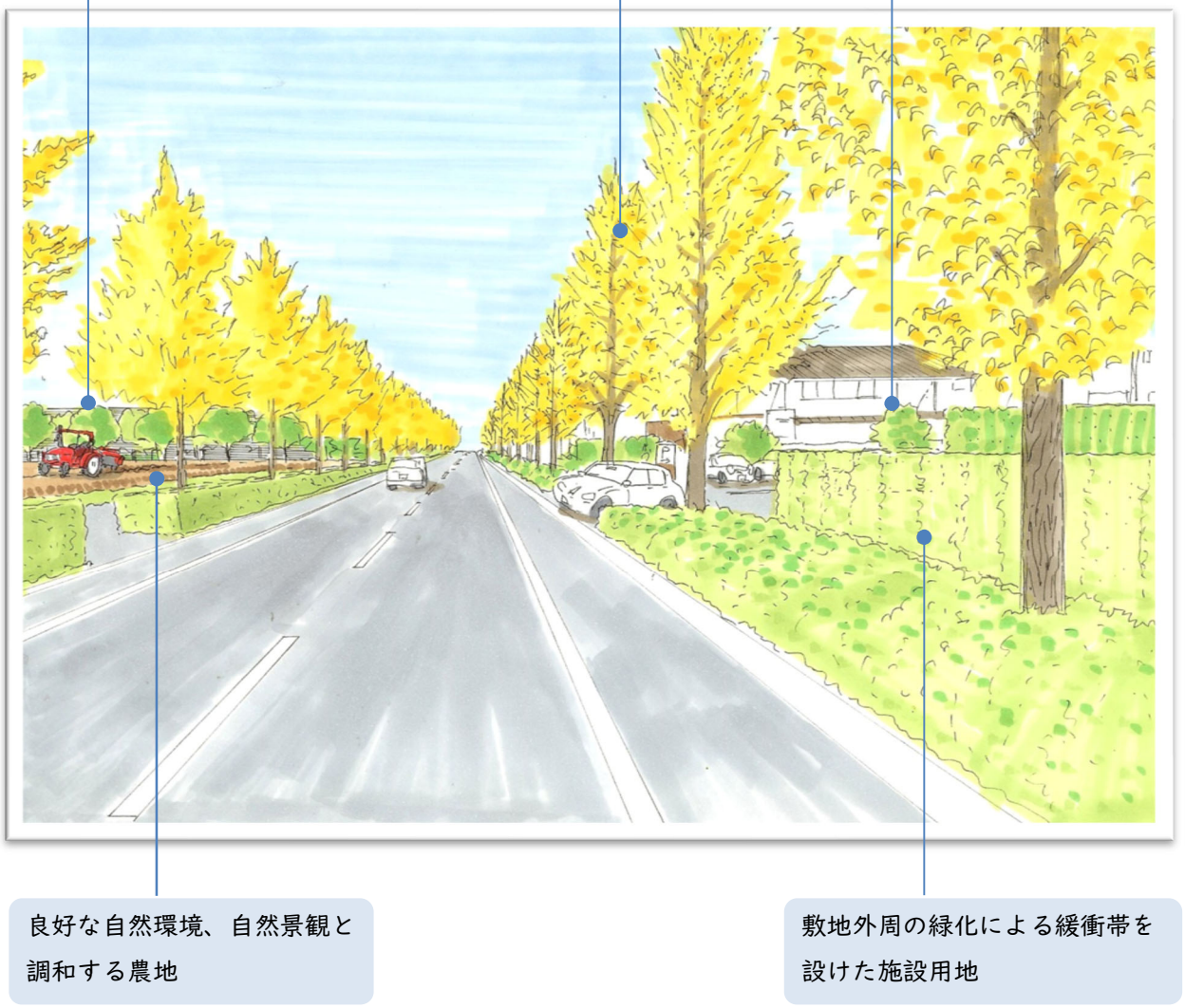
主な景観資源	自然的景観資源	・昊天宮の社叢	
	まちなみ景観	・旧長崎街道	
景観特性	・古くから農地として開けた平坦な地形の地域で、広がりある農村風景を見ることができます。 ・農地の中を旧長崎街道が南北に走り、これが現在の国道 34 号となっています。 ・昭和 30 年代から徐々に農地の宅地化が進み、農産物加工工場の立地が始まりました。 ・その後、さらに各種工場用地や住宅地への転用が増加して、農地、工場、住宅が混在する統一感のない景観、うるおいの乏しい景観となっています。		

平坦住宅地の遠景

昊天宮の社叢

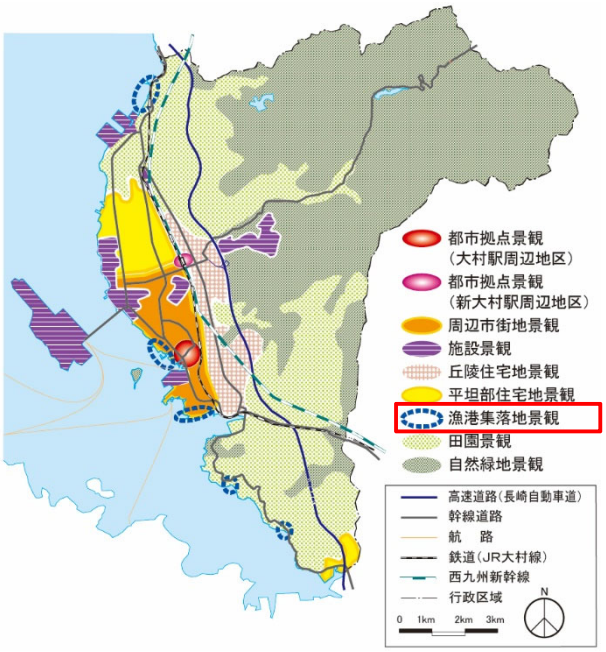
平坦部住宅地景観 景観形成の基本的方向	○住工等の用途混在による阻害景観物の改善誘導 ○工場、商業施設、駐車場等の外周部での緑化による遮蔽など、景観緩衝機能の導入による緩衝景観の形成 ○周辺景観に配慮した緑豊かな低層・中層住宅地景観の形成 ○農地等の継続的活用による自然景観の保全

■平坦部住宅地景観イメージ



⑥漁港集落地景観

主な景観資源	自然的景観資源	・松原八幡神社の社叢
	歴史的景観資源	・寺島
	景観建造物	・旧松屋旅館 ・池邉邸
	まちなみ景観	・松原宿の通り ・旧長崎街道
	生業景観	・松原漁港、漁村集落 ・東浦漁港、漁村集落 ・大村港、港湾施設 ・船津港、漁村集落 ・日泊港、漁村集落
	眺望点（視点場）	・松原しおさい公園



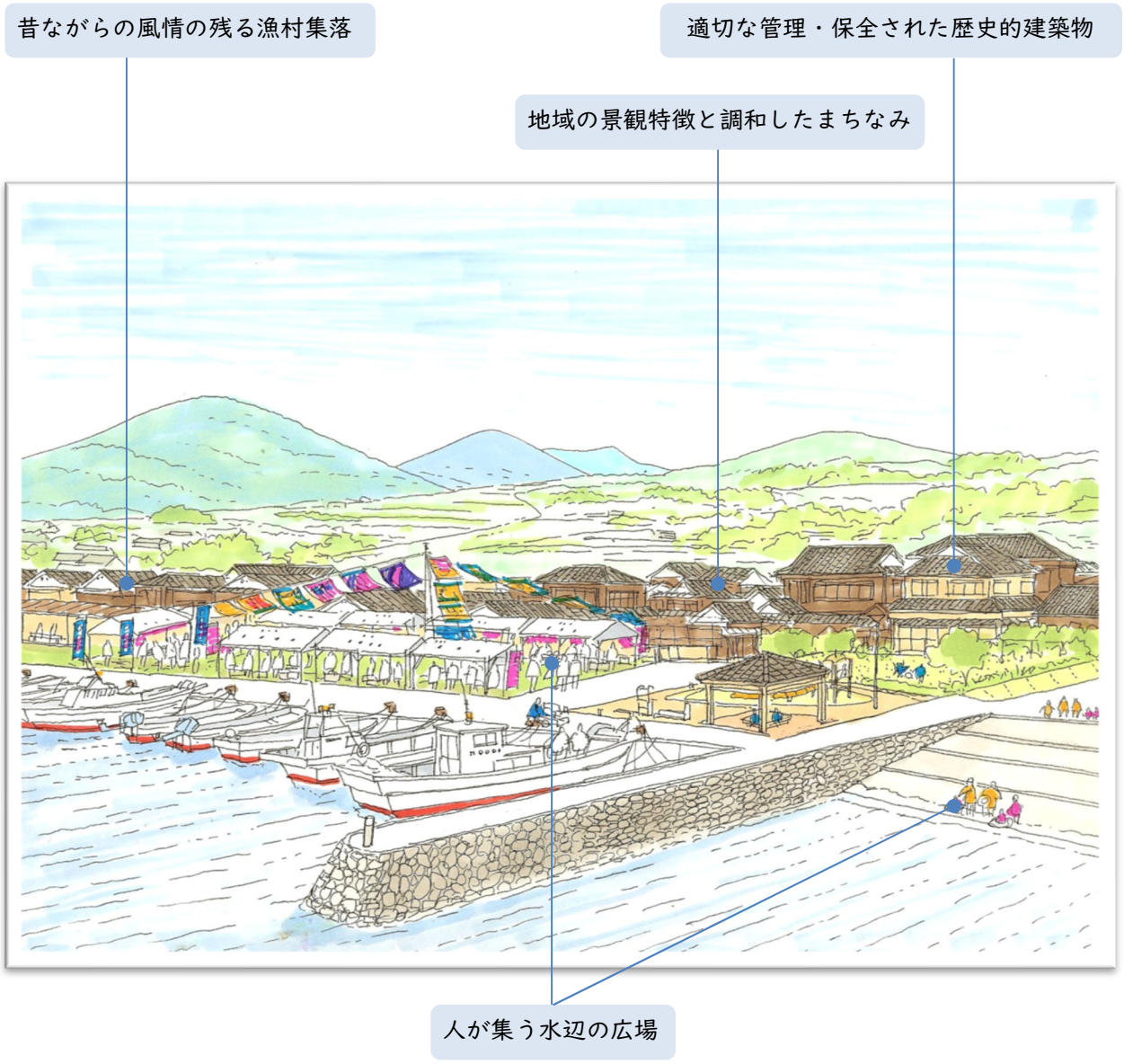
景観特性	・各地の港は、古くから自然地形を活かした漁港としてにぎわい、その背後には漁村が形成され、漁港と漁村が一体となって漁港集落地景観を形成しています。 ・大村港、松原漁港及び東浦漁港は、漁港関連施設用地の確保のために埋立てを行っており、近代化された港の印象を受けます。 ・一方、舟津港及び日泊港は、港と漁民住宅が一体となって、長い歴史性を感じるのどかで落ち着きのある景観を見ることができます。 ・旧長崎街道が走る沿道には、長い歴史を感じさせる情緒を残した建築物等が散在しています。

松原漁港・漁村集落

大村港

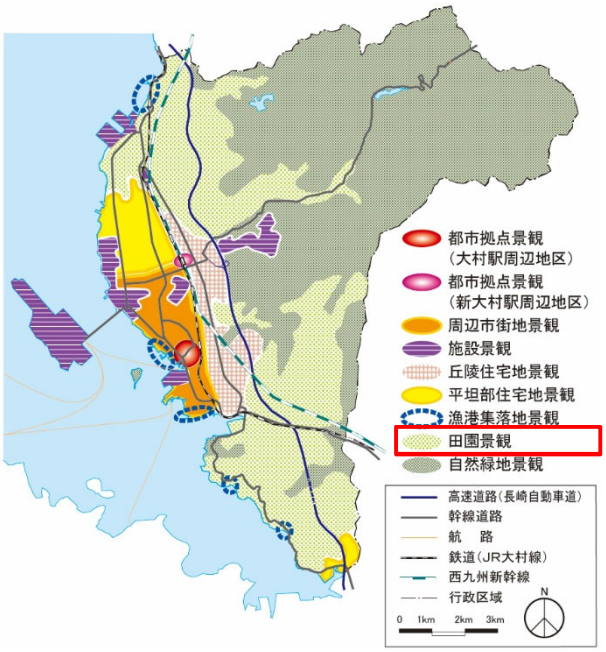
漁港集落地景観 景観形成の基本的方向	○海とのつながりを意識した漁港集落地景観の形成 ○漁港の個性を前面に出した水辺の雰囲気づくり ○集落の歴史的資源、施設等を活かした気品と風格のある集落地景観、歴史的街道景観の形成

■漁港集落地景観イメージ



⑦田園景観

主な景観資源	自然的景観資源	・郡川流域 ・鈴田川流域 ・今村川流域
	景観建造物	・妙宣寺保育園
	まちなみ景観	・旧長崎街道
	生業景観	・田園 ・樹林地 ・農村集落



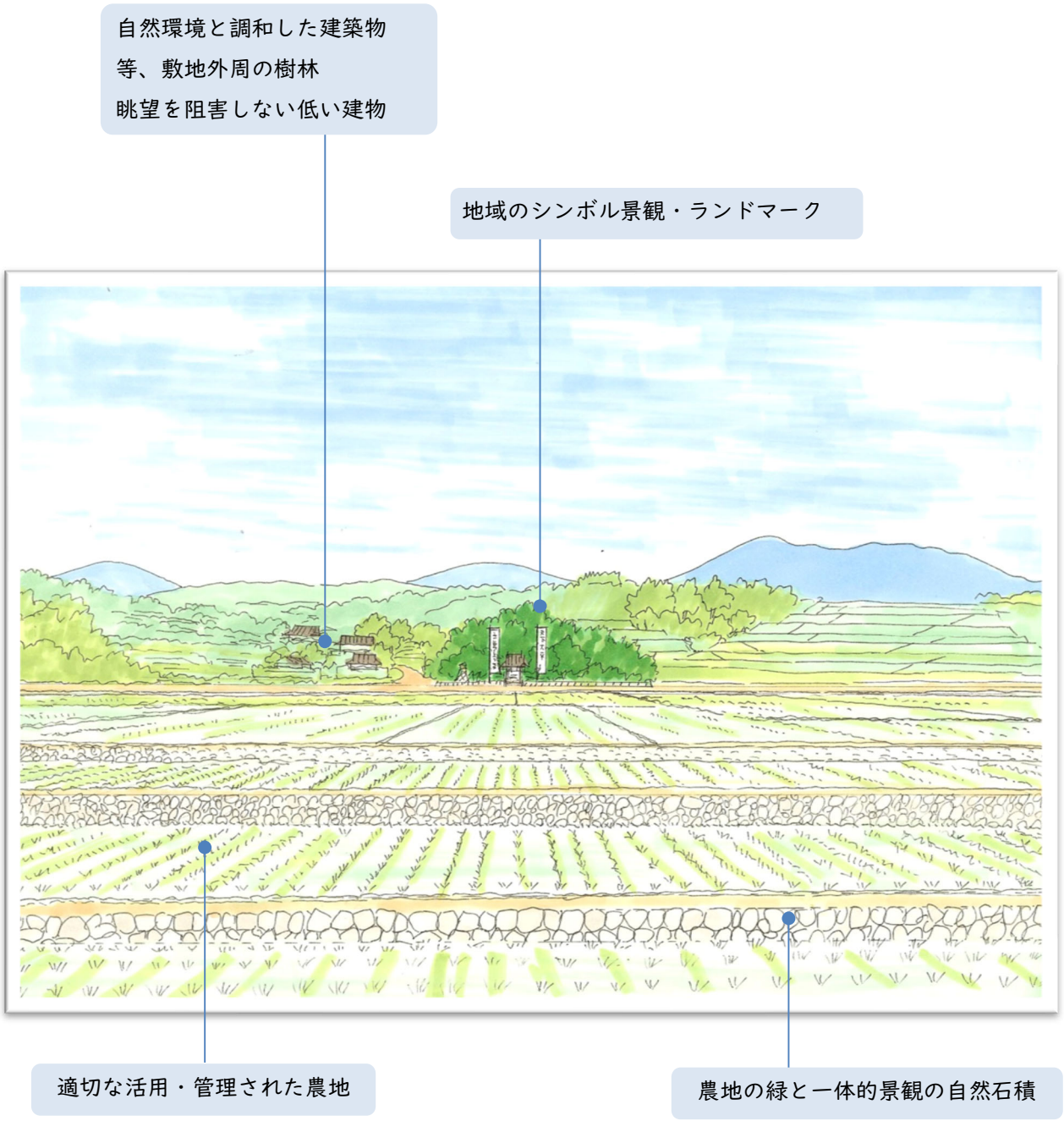
景観特性	・既成市街地を取り囲むように、水田、畑や果樹園地が広がっており、その中に農村集落が点在し、のどかな田園景観を見ることができます。 ・郡川の河口部の福重地区には、特に古くから農地が開けた地域で、一部の地域で条里制の名残がうかがえます。この地域は長い歴史を持つ地域であることから、黒丸踊、沖田踊、寿古踊の伝統芸能が受け継がれています。

丘陵農地

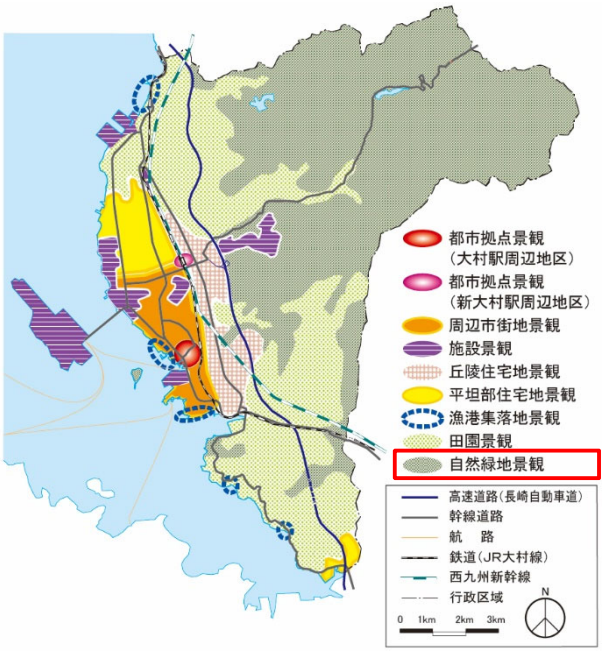
郡川

田園景観 景観形成の基本的方向	○農地の環境保全機能に配慮した田園景観の保全 ○農地の景観と調和した集落地景観の形成 ○地域を特徴づける石垣、生垣、樹林等の保全

■田園景観イメージ



⑧自然緑地景観

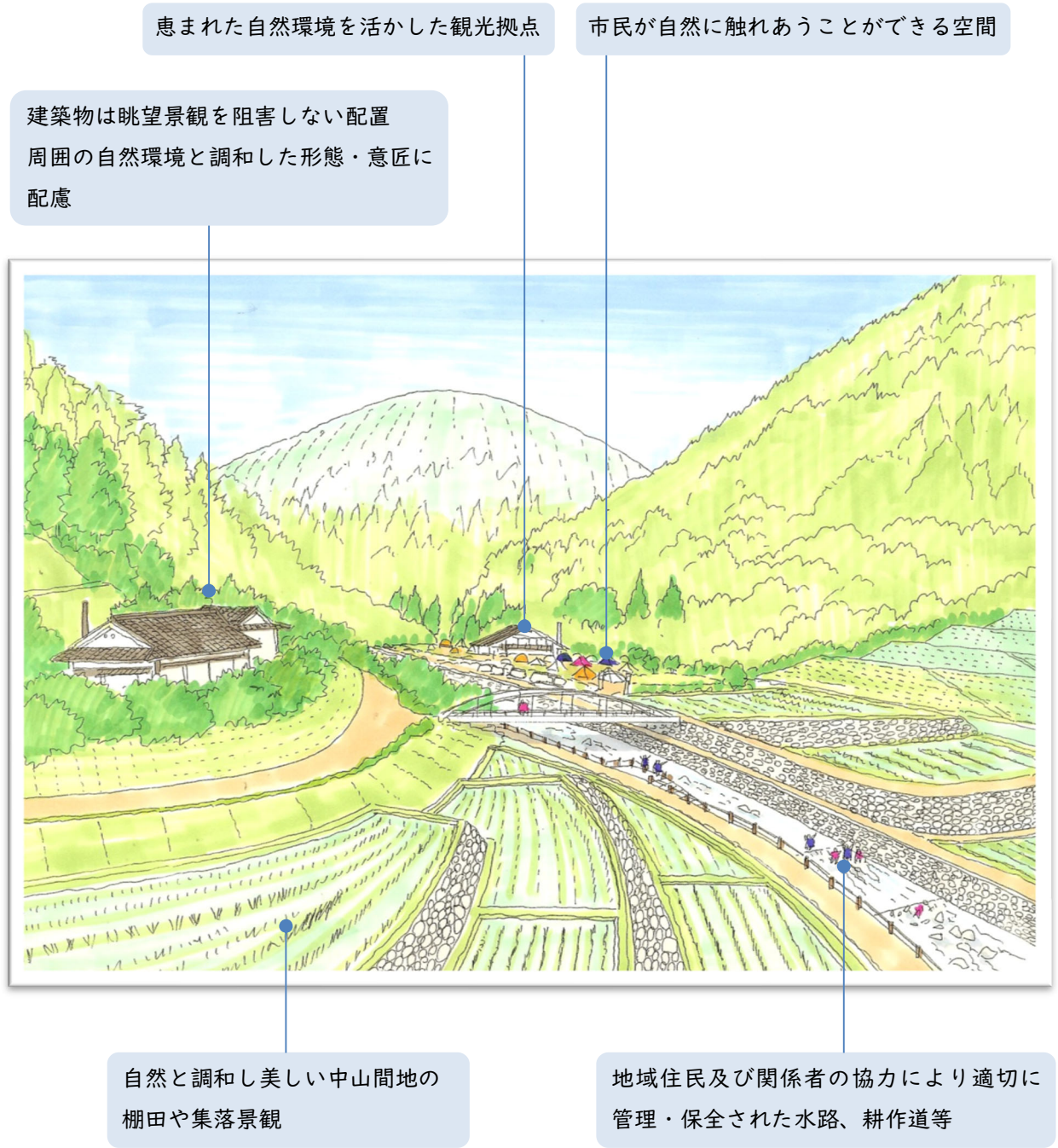
主な景観資源	自然的景観資源	・大村のイチイガシ天然林 ・多良岳センダイソウ群落 ・五ケ原岳ツクシシャクナゲ群落 ・裏見の滝自然花苑のシャクナゲ ・鉢巻山のヒガンバナ ・黒木渓谷 ・萱瀬スギ ・野岳湖公園 ・山田の滝風致地区	
	歴史的景観資源	・土井の浦窯跡	
	まちなみ景観	・旧長崎街道	
	ランドマーク	・臼島　・鉢巻山　・五家原岳 ・琴平岳　・日岳　・多良山系の稜線 ・郡岳　・経ケ岳	
	眺望景観（視点場）	・日岳公園　・琴平スカイパーク ・鉢巻山展望所	
景観特性	・多良岳山系の広大な森林地域と黒木地区の渓谷、陰平町の一部の自然林・植林は、田園地域と一体となって、自然の緑豊かな景観をつくり出しています。 ・植生的に貴重なイチイガシなど多くの樹木があり、名所となっています。 ・独立峰や山並み、大村湾に浮かぶ臼島が重要なランドマークとなっており、同時に眺望地点ともなっています。 ・山あいの河川沿いや水路沿いには、自然景観に溶け込んだ中山間地の農地や集落があります。また、自然環境を活かした棚田や公園があります。		

多良山系

琴平スカイパークからの眺望

自然緑地景観 景観形成の基本的方向	○植生や生態系に配慮した自然緑地景観の保全 ○河川、湖の水辺景観の保全 ○中山間地の棚田や集落景観の保全 ○魅力ある自然的レクリエーション拠点施設の景観の形成

■自然緑地景観イメージ



３－３景観形成重点地区の景観形成方針

景観形成重点地区とは、地区を特徴付ける主要な景観を有する場所や、新たに景観形成を誘導すべき場所等、重点的に景観形成を図る必要のある地区であり、景観形成の方針を定め、その方針に基づきながら個性豊かなまちづくりを進めていくものです。また、住民から要望のある一定の区域についても、景観形成重点地区として指定することができます。

（１）景観形成重点地区の指定

①景観形成地区指定

景観構造別の景観形成方針を定める際に、面的に広がる特徴的な景観特性を持った景観域として、23 ページで景観エリアを設定しました。それぞれのエリアは、大村市の景観を代表するまとまりのある景観を見ることができます。

この中で、特に景観形成を重点的に取り組む必要性が高く、当該地区住民の景観形成への取り組み意識の高い上小路周辺地区を景観形成地区とし、景観形成のための詳細な基準を設け、地区の景観特性の保全・創出を進めていきます。

なお、今後のまちづくりの変化や大規模な開発等の都市政策の進展や、住民意向の高まり等により、必要に応じて景観形成地区を指定していく予定です。

上小路

草場小路

旧楠本正隆屋敷

小姓小路

②特定施設届出地区指定

大村市の景観の中で、面的な広がりとともに、線状につながる景観も大きな特徴です。その線状景観として、河川・海岸、道路及びその沿道地域、並びに旧街道（長崎街道）及びその沿道地域があります。この中で、沿道に建築物が集積し、又はその恐れがある地域のうち、特に景観形成を重点的に取り組む必要性の高い線状地域を特定施設届出地区とし、景観形成に大きな影響を与えると予想される特定施設（ガソリンスタンド、パチンコ店、飲食店等、その他施設）に関して、景観形成のための詳細な基準を設けて地区の景観特性をさらに伸ばしていきます。

よって、次の７路線の沿道地域を特定施設届出地区として指定します。

〇沖田線沿線地区
〇大村外環状線地区
〇国道444号･主要地方道長崎空港線沿線地区
〇大村駅前乾馬場線沿線地区
〇杭出津松原線沿線地区
〇富の原鬼橋線沿線地区
〇国道34号沿線地区

大村外環状線

杭出津松原線

国道 444 号･主要地方道長崎空港線

国道 34 号

③準景観形成重点地区の指定

相当数の建築物の建築が行われ、現に良好な景観が形成されている一定の区域について、その景観の保全を図るため、準景観形成重点地区に指定することもあります。

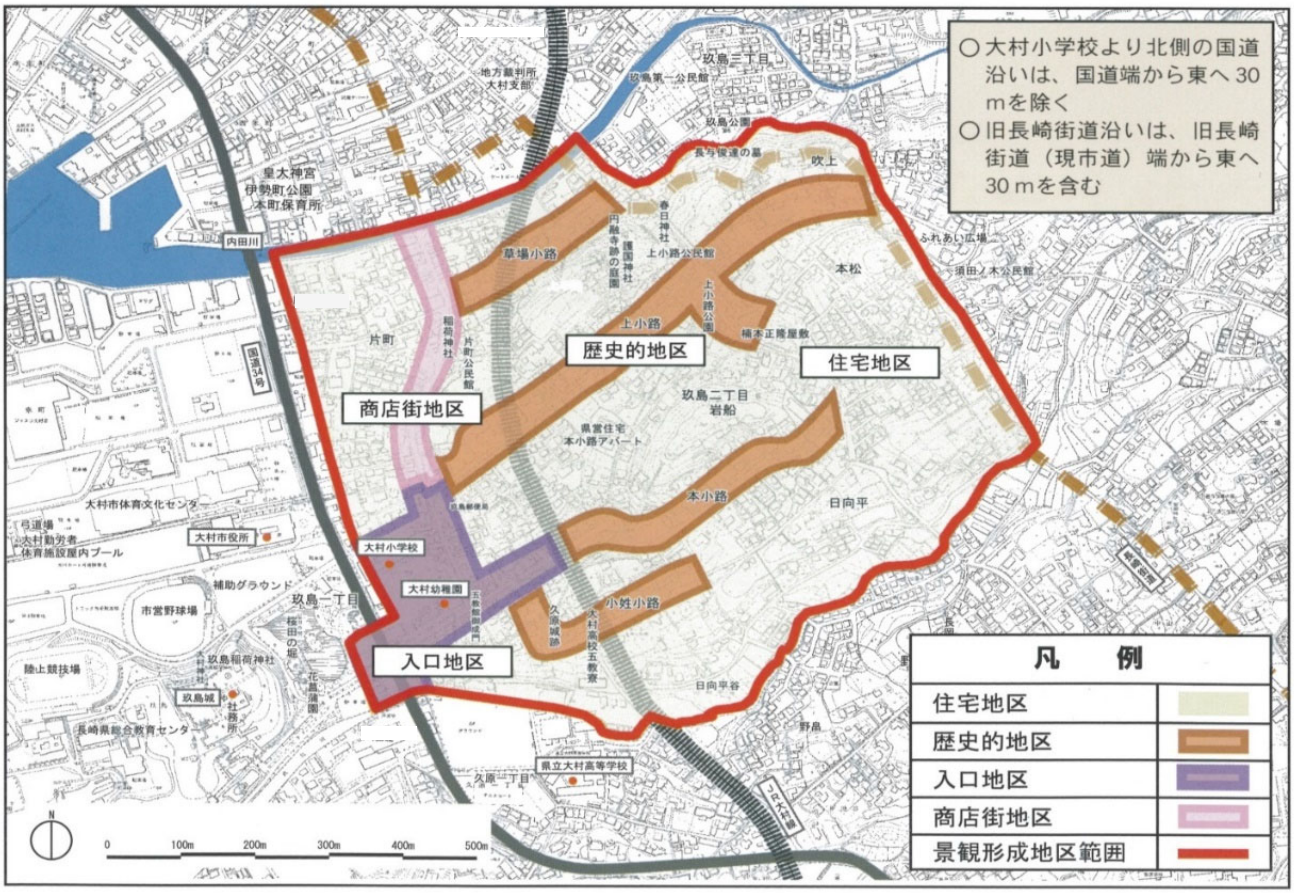
（２）地区別景観形成方針

①景観形成地区の景観形成方針

上小路周辺地区全体での景観形成の方向性を踏まえ、地区内の景観特性に応じて４地区に区分し、それぞれの地区別方針を定めます。

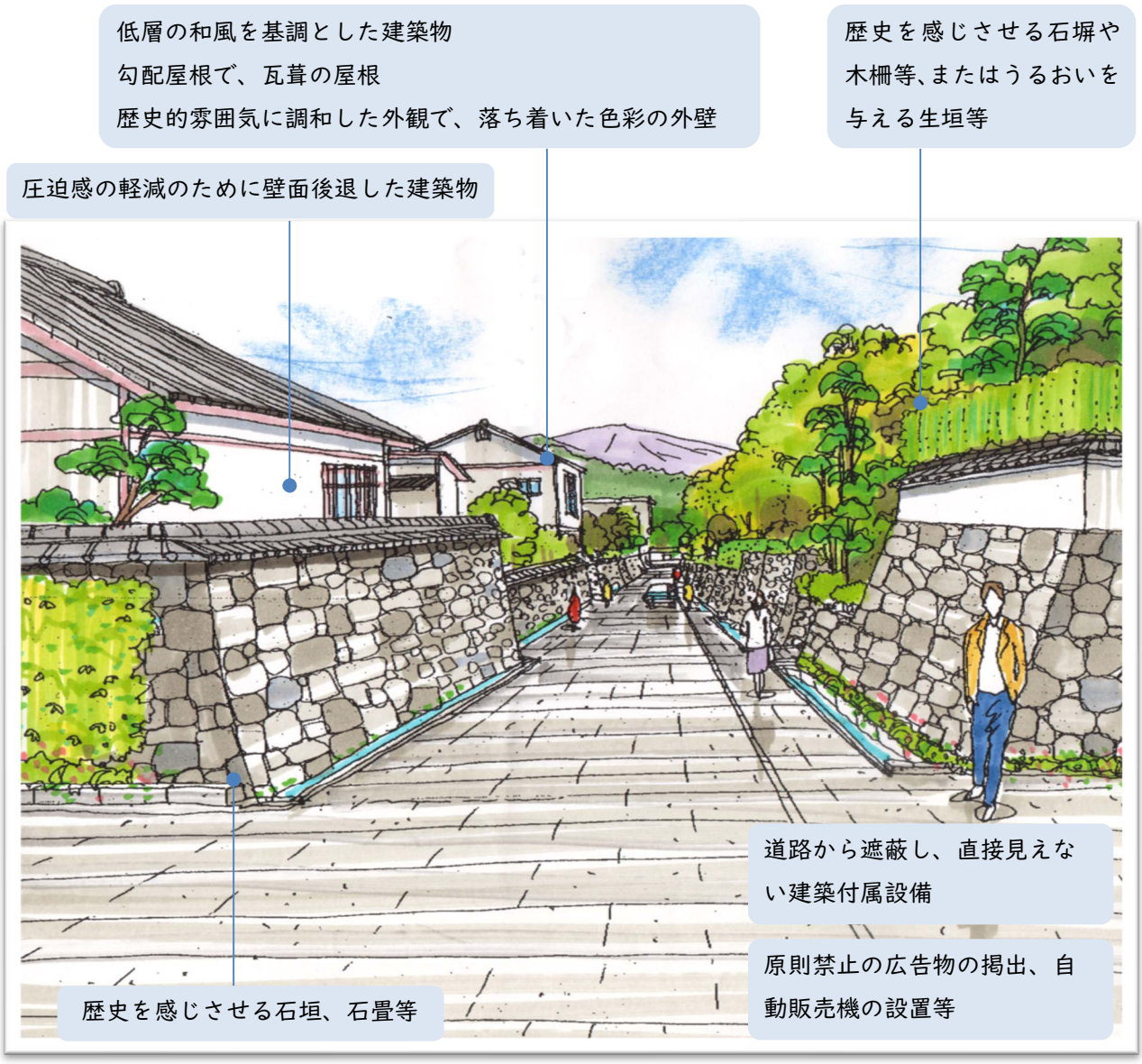
上小路周辺地区の景観形成の基本的方向	○地区の景観形成のための規制誘導ルールに関する住民理解の促進 ○歴史的物件等の保全と周辺景観に配慮したまちなみ景観の規制誘導の推進 ○電柱の道路外設置の誘導やまちなみ景観に調和した道路舗装整備、案内サイン等の公共施設等の整備における景観配慮への取り組みの推進 ○住民、事業者が主体的に景観形成を行うよう誘導する景観形成支援施策の充実

■4 地区の区分図



歴史的地区の景観形成方針	
方針	地区の貴重な資源である武家屋敷や石垣を大切に残し、歴史的な雰囲気が強く感じられる小路景観の形成を目指します。
配慮すべき事項	・道路に面する箇所は、原則自然石による石垣、石積塀、漆喰等の塗壁、生垣とする。 ・建築物等の新築等に当たっては、歴史的環境に調和した規模、形態、色彩とする。 ・歴史的環境の維持のため、ゆったりとした敷地規模を確保し、土地の細分化は避ける。 ・既存の歴史的な石垣等の物件は保全する。 ・建築物は、道路に直接面しないよう壁面を後退させる。 ・道路から建築付属施設等が直接見えないように配慮する。 ・広告物の掲出、自動販売機の設置等は原則禁止する。道路付属物、占有物は最小限なものとし、設置する場合は、重点地区の歴史的雰囲気に調和した外観とする。

■歴史的地区景観イメージ



入口地区の景観形成方針	
方針	歴史的地区への導入部として、玖島城址から続く大手門前の雰囲気を漂わせる歴史的入口景観の形成を目指します。
配慮すべき事項	・大村公園前交差点周辺の良好な公共空間を形成し、入口景観の演出を行う。 ・重点地区の歴史的雰囲気に調和した案内及び休憩施設を総合的に集積整備する。 ・建築物等の新築等に当たっては、歴史的環境に調和した規模、形態、色彩とする。 ・建築物は、道路に直接面しないよう壁面を後退させる。 ・道路に面する建築物、建築物付属施設・設備、工作物、広告物等は、重点地区の歴史的雰囲気に調和した規模、形態、色彩とする。

■入口地区景観イメージ

地区の歴史的雰囲気に調和した規模、形態、色彩の建築物、工作物等

低層の和風を基調とした建築物
勾配屋根で、瓦葺の屋根
歴史的雰囲気に調和した外観及び色彩の外壁
ゆとり空間確保のための壁面の後退

うるおいを演出するための緑のオープンスペース

地区の歴史的雰囲気に調和した案内施設及び休憩施設

商店街地区の景観形成方針	
方針	歴史的地区の入口として、伝統と風格が感じられる商店街景観を目指します。
配慮すべき事項	・建築物、建築物付属施設・設備、工作物等は、重点地区の歴史的雰囲気に調和した規模、形態、色彩とする。 ・広告物の掲出、自動販売機の設置等を行う場合は、重点地区の歴史的雰囲気に調和した外観とする。

■商店街地区景観イメージ

周辺環境やまちなみと調和した建物
大壁面とならない形態
まちなみと調和した落ち着いた色彩
建物と一体となった付属施設のデザイン

周囲から突出しない建物高さで、屋根形状は勾配屋根
落ち着いた色彩の外壁、屋根

にぎわいを創出するオープンスペース

まちなみに調和したデザイン、色彩の看板、自動販売機等

住宅地区の景観形成方針	
方針	豊かな緑と歴史に育まれ、落ち着きと静けさに包まれた住宅地景観を目指します。
配慮すべき事項	・建築物、建築付属施設・設備、工作物等は、重点地区の歴史的雰囲気に調和した規模、形態、色彩とする。 ・建築物は、道路に直接面しないよう壁面を後退させる。 ・道路付属物、占有物は最小限なものとし、設置する場合は、重点地区の歴史的雰囲気に調和した外観とする。

■住宅地区景観イメージ

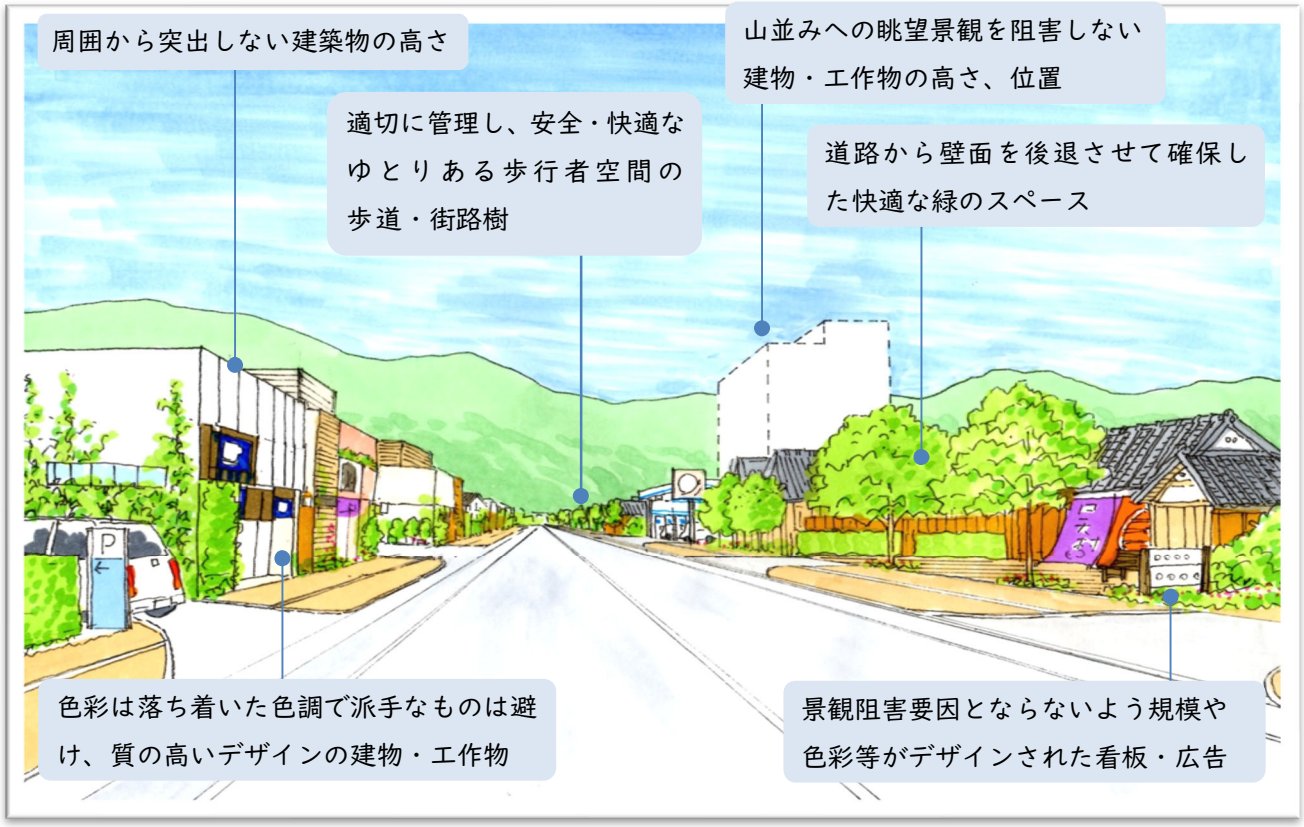
②特定施設届出地区の景観形成方針

景観形成の方向性を踏まえ、線状につながる重点地区の方針及び配慮すべき事項を定めます。

特定施設届出地区の景観形成の基本的方向	○地域間の主要動線で、利便性・快適性のある景観形成軸の形成 ○各種施設が集積する道路沿道地区の景観形成を図るための規制誘導の推進 ○規制誘導のルールに関する住民、事業者の理解の促進 ○住民、事業者が道路景観に愛着と誇りを持ち、日常的な維持管理を行うことができる体制・支援づくり

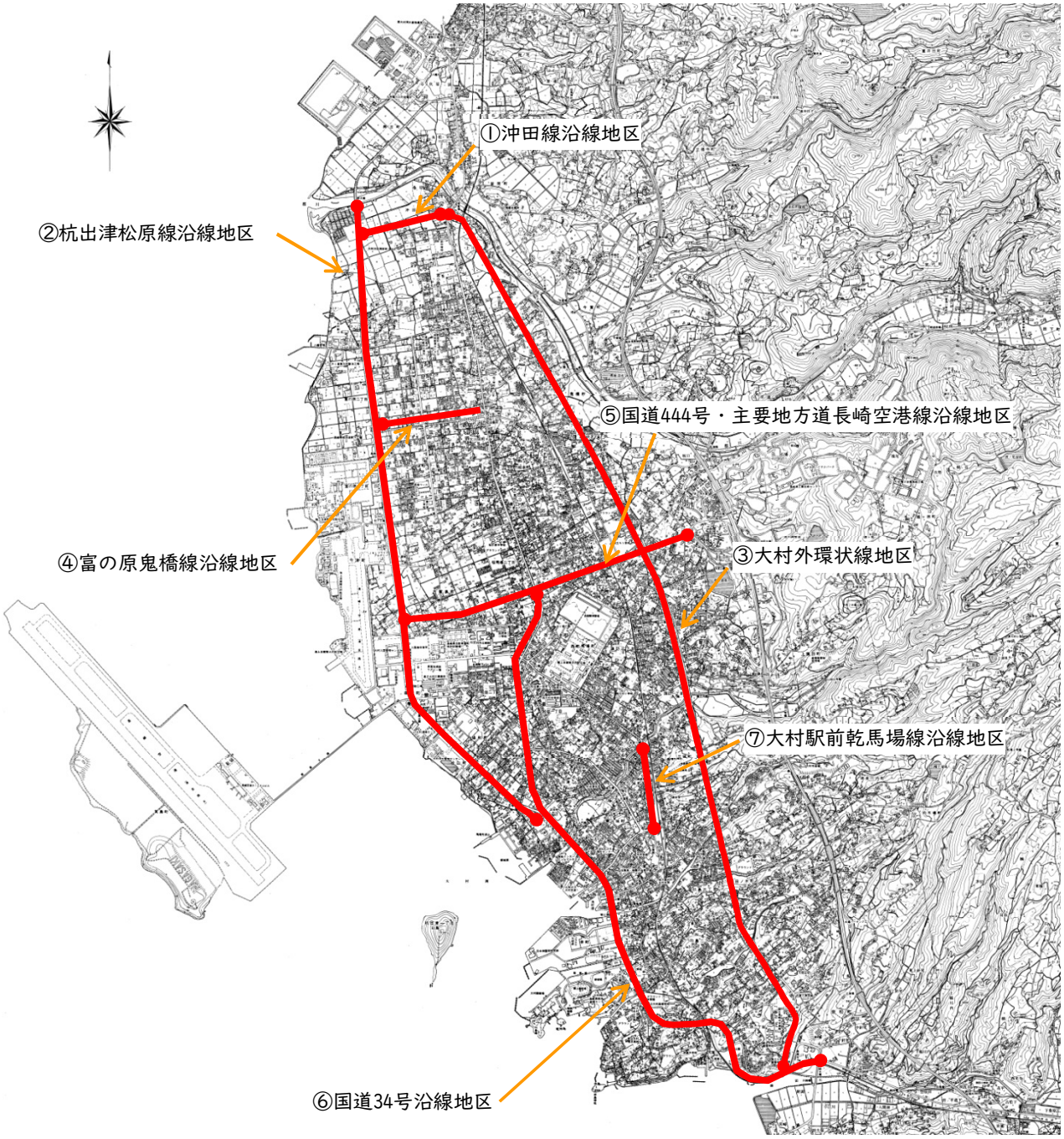
特定施設届出地区の景観形成方針	
方針	○地域の特性に応じた景観づくりを進めます。 ○周辺との調和によるまとまりのある沿道景観を目指します。 ○市民が安全に安心して歩けるまちなみを創ります。
配慮すべき事項	・道路景観を構成する上で重要な要素となる特定施設の適切な指定を行うものとする。 ・建築物、工作物等は、海や山並みへの眺望景観に配慮した位置及び規模のものとする。 ・統一感のあるまちなみをつくるため、建築物、工作物等の色彩は原色を避け、落ち着いた色調とする。 ・広告物の掲出については、必要最小限とし、規模、位置、色彩等のデザインが地域の特性を踏まえた良好な景観の形成に寄与するような表示・掲出とする。 ・街路樹の管理を適切に行うとともに、清掃、水やり等の日常管理は自発的に地域住民、事業者が行うものとする。 ・歩道空間の安全性及び快適性を確保した道路とする。

■幹線道路及びその沿道地区景観イメージ



■特定施設届出地区

＊路端より両側それぞれ 20ｍ以内の地域



③準景観形成重点地区の景観形成方針

新たに都市計画区域外で準景観形成重点地区を指定した場合は、面的な広がりのある重点地区の住宅地区に準じた方針となります。